

令和 2 年度（2020 年度）

# 事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

< 本編 >

I. 法人の概要	1
II. 事業の概要	9
1. 学園全体	9
2. 森ノ宮医療大学	13
3. 森ノ宮医療学園専門学校	42
4. 森ノ宮医療学園ランゲージスクール	51
5. 森ノ宮医療学園附属診療所	55
6. 森ノ宮医療学園京都治療院	63
7. 森ノ宮医療学園出版部	65
III. 決算の概要	67
IV. 第 2 期中期計画の進捗状況	69
(別冊) 部署別事業計画進捗結果	

本報告書は、平成 21 年 2 月 17 日付日本公認会計士協会「学校法人における事業報告書の記載例について」を参考に構成しています。

# I. 法人の概要

## 1. 建学の精神

臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する

## 2. 学校法人の沿革

昭和48年（1973）	3月	厚生省より鍼灸師養成施設の認可を受ける
	4月	大阪鍼灸専門学校開校（大阪市東成区）
昭和52年（1977）	4月	学校法人「森ノ宮学園」となり、あわせて専修学校医療専門課程となる
昭和57年（1982）	4月	附属診療所、附属鍼灸施術所落成
昭和60年（1985）	4月	卒後教育雑誌「鍼灸 OSAKA」創刊
昭和63年（1988）	5月	鍼灸師養成に関わる法律により修業年限3年となる
	11月	中国、大連市中医院と学術研究提携を結ぶ
平成3年（1991）	7月	米国、Santa Barbara College of Oriental Medicine と教育提携を結ぶ
平成4年（1992）	7月	中国、南京中医薬大学と学術研究提携を結ぶ
平成7年（1995）	3月	この年の卒業生から文部省告示による専門士（医療専門課程）の称号を授与
平成8年（1996）	6月	中国江蘇省陰市中医院と交流開始
平成12年（2000）	4月	柔道整復学科開設、法人名を学校法人森ノ宮医療学園、学校名を森ノ宮医療学園専門学校と改称
平成13年（2001）	1月	森ノ宮医療学園専門学校本校舎増改築工事完成、同校3階に「はりきゅうミュージアム」開設
平成14年（2002）	1月	「はりきゅうミュージアム」にて代田文誌特別展開催
	4月	森ノ宮医療学園専門学校緑橋校舎増設
平成15年（2003）	3月	柔道整復学科第1期生卒業 創立30周年記念式典 校歌「みどりの風」制定
	4月	全日制アドバンスコース開講
	7月	アネックス校舎（第1期）完成
平成16年（2004）	3月	中国江蘇省江陰市中医院と学術・教育協定締結
平成17年（2005）	2月	医療法人淳良会関目病院と教育提携を結ぶ
平成19年（2007）	4月	森ノ宮医療大学開学（大阪市住之江区）
平成20年（2008）	2月	第1回おおさか優良緑化賞・大阪府知事賞受賞
	11月	森ノ宮医療大学コスモキャンパス第2校地取得
平成22年（2010）	1月	森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック、みどりの風鍼灸院開院
	3月	森ノ宮医療学園アネックス校舎完成
	4月	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立急性期・総合医療センターと括連携協定締結
	6月	森ノ宮医療大学メディカフェ（学生食堂）オープン
平成23年（2011）	4月	森ノ宮医療大学看護学科設置 西棟（ウエストポート）竣工 森ノ宮医療大学大学院修士課程保健医療学研究科設置
平成24年（2012）	2月	森ノ宮医療大学鍼灸学科スポーツ特修コース設置認可
平成25年（2013）	3月	森ノ宮医療大学 公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評価受審の結果、「適合」との判定 森ノ宮医療学園専門学校 文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認定

平成26年(2014)	1月	大阪市住之江区と包括連携協定締結
平成26年(2014)	6月	大阪府高槻市教育委員会と包括連携協定締結
平成26年(2014)	11月	大阪府吹田市教育委員会と包括連携協定締結
平成27年(2015)	2月	相愛大学と包括連携協定締結
平成28年(2016)	3月	森ノ宮医療学園専門学校が大阪社会体育専門学校と包括連携協定締結
平成28年(2016)	4月	森ノ宮医療大学に助産学専攻を開設。保健医療学部臨床検査学科、作業療法学科を開設
平成28年(2016)	5月	森ノ宮医療大学新棟(キャナルポート)竣工、新体育館、新図書館併設
	6月	森ノ宮医療大学講堂(コスモホール)竣工
	9月	森ノ宮医療学園専門学校がフロリダ・カレッジ・オブ・インテグレイティブメディスン(FCIM)と姉妹校提携
	11月	森ノ宮医療大学開設10周年記念式典挙行
	12月	森ノ宮医療大学コスモキャンパス西側隣接地の校地(大学設置基準上の空地)購入
平成29年(2017)	4月	森ノ宮医療大学 禁煙宣言
	11月	森ノ宮医療学園 京都施術所(ERP 下鴨南治療院)開業
	12月	森ノ宮医療大学 西校地南側を運動施設(グリーンスクエア)に整備
平成30年(2018)	1月	森ノ宮医療大学 公益財団法人日本生命済生会付属日生病院(現:日本生命病院)と相互連携協定締結
	3月	森ノ宮医療大学 オーストラリア、カーティン大学(Curtin University)と連携協定締結
	4月	森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科医療科学専攻(博士後期課程)開設
	7月	森ノ宮医療学園専門学校が大阪市東成区と包括連携協定締結
平成31年(2019)	2月	森ノ宮医療学園ランゲージスクールが大阪府から各種学校として認可される。
平成31年(2019)	4月	森ノ宮医療学園ランゲージスクール開校
令和2年(2020)	2月	森ノ宮医療大学 桜棟校舎竣工
令和2年(2020)	4月	森ノ宮医療大学 保健医療学部放射線学科を開設、大学院保健医療学研究科看護学専攻(修士課程)を設置、開設 森ノ宮医療大学保健医療学部臨床検査学科細胞検査士課程開設

### 3. 設置する学校・学部・学科等

法人の名称		学校法人森ノ宮医療学園		事務所の所在地		大阪府大阪市東成区 中本4丁目1番8号	
設置する学校	学校名	学部・学科名等	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	備考
	森ノ宮医療大学	大学院保健医療学研究科 保健医療学専攻（修士課程）	2	6	0	12	開設年度 平成23年度
		大学院保健医療学研究科医 療科学専攻（博士後期課程）	3	2	0	4	開設年度 平成30年度
		保健医療学部 鍼灸学科	4	60	0	240	開設年度 平成19年度
		保健医療学部 理学療法学科	4	70	0	260	
		保健医療学部 看護学科	4	90	0	340	開設年度 平成23年度
		保健医療学部 臨床検査学科	4	60	0	240	開設年度 平成28年度
		保健医療学部 作業療法学科	4	40	0	160	開設年度 平成28年度
		保健医療学部 臨床工学科	4	60	0	180	開設年度 平成30年度
		保健医療学部 診療放射線学科	4	80	0	80	開設年度 令和2年度
		助産学専攻科	1	10	0	10	開設年度 平成28年度
	森ノ宮医療学園専門学校	医療専門課程鍼灸学科	3	120	0	390	開設年度 昭和48年度
		医療専門課程柔道整復学科	3	120	0	360	開設年度 平成12年度
	森ノ宮医療学園 ランゲージ スクール	日本語学科進学 1年コース	1	20	0	20	開設年度 平成31年度
		日本語学科進学 1年6か月コース	1.5	20	0	40	
		日本語学科進学 2年コース	2	20	0	40	

#### 4. 施設等の状況

学校名（所在地）	校地現有面積	校舎現有面積	備考
森ノ宮医療大学・ 大学院 (大阪市住之江区南港北1丁目39番1号)	32,936.65 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup> 7,193.15 (東棟)	令和元年度に桜棟 (5,422.25 m <sup>2</sup> )完成
		603.63 (食堂棟)	
		4,523.74 (西棟)	
		10,939.69 (南棟)	
		30.64 (スポーツ施設管理棟)	
		5,422.25 (桜棟)	
森ノ宮医療大学 計	32,936.65	28,713.10	
森ノ宮医療学園専門学校 (大阪市東成区中本4丁目1番8号)	1,560.22	5,253.67 (本校舎)	
森ノ宮医療学園専門学校 (大阪市東成区中本3丁目15番11号)	530.56	936.74 (緑橋校舎)	
森ノ宮医療学園専門学校 (大阪市東成区中 本2丁目5番41号)	1,329.40	1,454.19 (アネックス校舎)	
森ノ宮医療学園専門学校 計	3,420.18	7,644.60	
森ノ宮医療学園ランゲージスクール (大阪市住之江区南港北1丁目28番9 号)		673.31 (日本語学科棟)	
		1,070.90 (介護福祉学科棟)	
森ノ宮医療学園ランゲージスクール		1,744.21	
総合計	36,176.83	38,101.91	

## 5. 役員の概要

(2020 年 4 月 1 日現在)

・定員数：理事 8～14 名、監事 2～3 名 ・現員数：理事 13 名、監事 2 名

役職	氏名	役員就任年月日	寄附行為上の選任区分	備考
理事長	清水尚道	平成 22 年 11 月	7-1-1	森ノ宮医療学園専門学校校長
理事	荻原俊男	平成 23 年 4 月	7-1-1	森ノ宮医療大学学長
理事	花谷幸比古	平成 9 年 5 月	7-1-2	
理事	三木完二	平成 9 年 5 月	7-1-2	
理事	尾崎朋文	平成 25 年 4 月	7-1-2	
理事	小島賢久	平成 25 年 4 月	7-1-2	
理事	安田実	平成 11 年 5 月	7-1-3	
理事	中田敬吾	平成 14 年 5 月	7-1-3	
理事	吉川徹	平成 25 年 7 月	7-1-3	
理事	金尾顕郎	平成 27 年 4 月	7-1-3	
理事	青木元邦	平成 27 年 4 月	7-1-3	
理事	松浦成昭	平成 31 年 4 月	7-1-3	
理事	笠山宗正	平成 31 年 4 月	7-1-3	
監事	日根野文三	平成 11 年 5 月		
監事	小林由幸	平成 14 年 10 月		

## 6. 評議員の概要

(2020 年 4 月 1 日現在)

・定員数 17～29 名 ・現員数：27 名

氏名	寄附行為上の選任区分
田畑京美	25-1-1
山下 仁	25-1-1
村上生美	25-1-1
鍋田智之	25-1-1
青木元邦	25-1-1
吉岡敏治	25-1-1
三木屋良輔	25-1-1
松下美穂	25-1-1
花谷幸比古	25-1-2
三木完二	25-1-2
房前素徳	25-1-2
浜田 暁	25-1-2
清水尚道	25-1-2

尾崎朋文	25-1-2
奥田 功	25-1-3
河内 明	25-1-3
鈴木 紘	25-1-3
下條喜信	25-1-3
築山房乃	25-1-3
森 優也	25-1-3
小島賢久	25-1-3
葉山直史	25-1-3
鈴木 信	25-1-3
中田 一	25-1-3
赤丸敏行	25-1-3
吉村弥須子	25-1-3
石塚充弘	25-1-3

## 7. 教職員の概要

(2020年5月1日現在)

### ●大学

区分	人数
本務教員	137
本務職員	50

(学校基本調査に基づく)

### ●専門学校

区分	人数
本務教員	21
本務職員	16

(学校基本調査に基づく)

### ●森ノ宮医療学園ランゲージスクール

区分	人数
本務教員	4
本務職員	3

### ●法人本部、その他事業所

区分	人数
本務職員	29

## 8. その他

### ●主な加盟団体

	加盟団体	部門	主管部署	備考
1	公益社団法人 私学経営研究会	法	法人本部	学校関係
2	NPO法人 学校経理研究会	法	法人本部	
3	全国専修学校各種学校総連合会	専	事務局	
4	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会	専	事務局	
5	公益財団法人 日本高等教育評価機構	大	総務室	
6	都市圏高等教育懇談会	大	総務室	
7	日本私立大学協会	大	総務室	
8	日本私立大学協会関西支部	大	総務室	
9	西日本私立大学振興協議会	大	学長室	
10	大阪府私立大学連絡会	大	総務室	
11	特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪	大	教務室	
12	一般財団法人 全国私立大学教職課程協会	大	教務室	
13	阪神地区私立大学教職課程研究連絡協議会	大	教務室	
14	広域大学連携事業	大	教務室	
15	関西地区 FD 連絡協議会	大	学長室	
16	関西学生就職指導研究会	大	学生支援室	
17	実験動物施設協議会	大	事務局	
18	関西生産性本部	大	事務局	



19	学校経営品質向上研究会	大	事務局	
20	日本アロマコーディネーター協会	専	事務局	
21	公益社団法人 東洋療法学校協会	専	鍼灸学科	鍼灸関係
22	公益社団法人 全日本鍼灸学会	大	鍼灸学科	
23	公益社団法人 日本鍼灸師会	大	鍼灸学科	
24	公益社団法人 大阪府鍼灸師会	大	鍼灸学科	
25	一般社団法人 メディカル・フィットネス協会	大	鍼灸学科	
26	鍼灸学系大学協議会	大	鍼灸学科	
27	一般社団法人 全国リハビリテーション学校協議会	大	理学療法学科 作業療法学科	理学療法 作業療法 関係
28	一般社団法人 近畿リハビリテーション学校協議会	大	理学療法学科 作業療法学科	
29	一般社団法人 日本私立看護系大学協会	大	看護学科	看護関係
30	一般社団法人 日本看護系大学協議会	大	看護学科	
31	公益社団法人 全国助産師教育協議会	大	看護学科 助産学専攻科	
32	一般社団法人 全国保健師教育機関協議会	大	看護学科	
33	公益財団法人大阪府看護協会	大	看護学科	
34	一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会	大	臨床検査学科	臨床検査 関係
35	一般社団法人大阪府臨床工学技士会	大	臨床工学科	臨床工学 関係
36	全国診療放射線技師教育施設協議会	大	診療放射線学科	診療放射線 関係
37	公益社団法人 全国柔道整復学校協会	専	柔道整復学科	柔道整復 関係
38	公益社団法人 日本柔道整復接骨医学会	専	柔道整復学科	
39	私立大学図書館協会	大	図書館	図書館 関係
40	日本看護図書館協会	大	図書館	
41	一般社団法人 日本温泉気候物理学会	大	図書館	
42	経絡治療学会	大	図書館	
43	社団法人大阪市防火管理協会	専	事務局	広報関係 地域関連
44	東成防火協力会	専	事務局	
45	東成防犯協会	専	事務局	
46	中本連合中本第一町会	専	事務局	
47	中本社会福祉協議会	専	事務局	
48	コスモスクエア地区開発協議会	大	学長室	
49	大阪商工会議所	大	事務局	
50	公益社団法人 日本医師会	法	附属診療所	診療所 関係
51	一般社団法人 大阪府医師会	法	附属診療所	
52	一般社団法人 東成区医師会	法	附属診療所	

●主な連携先

締結年月日	連携先機関等（現在の名称）	連携の種類	備考
H22. 4. 6	地方独立行政法人大阪病院機構 大阪急性期・総合医療センター	相互連携	2017/4/1 大阪府立急性期・総合医療センターから改称
H23. 7. 11	医療法人協和会 千里中央病院	相互連携	
H23. 12. 9	医療法人錦秀会	相互連携	
H25. 5. 27	公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院	相互連携	
H26. 1. 9	大阪府住之江区	包括連携	
H26. 1. 15	医療法人協和会	相互連携	
H26. 6. 3	高槻市教育委員会	連携協定	
H26. 11. 19	医療法人社団有隣会 東大阪病院	相互連携	森ノ宮医療大学保健医療学部との連携
H26. 11. 25	吹田市教育委員会	連携協定	
H27. 2. 19	学校法人相愛学園 相愛大学	包括連携	
H27. 3. 9	社会医療法人景岳会 南大阪病院	相互連携	
H27. 4. 15	大阪市教育委員会	※	※ボランティアについての協定
H27. 7. 27	守口市教育委員会	連携協定	
H28. 1. 29	社会福祉法人帝塚山福祉会	相互連携	
H28. 6. 13	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター	相互連携	2017/4/1 大阪府立成人病センターから改称
H28. 8. 22	学校法人常翔学園	※	※スタッフディベロップメントにおける大学間連携
H29. 2. 24	社会医療法人純幸会 関西メディカル病院	相互連携	
H29. 10. 5	株式会社かなえるリンク	相互連携	森ノ宮医療大学保健医療学部との連携
H30. 1. 18	放送大学	単位互換	
H30. 1. 26	公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院	相互連携	2018/4/30 日生病院から改称
H30. 4. 19	ミズノ株式会社	包括連携	高等学校への活動支援、地域への社会貢献活動 等
H30. 11. 1	近畿大学病院	相互連携	
H30. 12. 3	大阪重粒子センター	相互連携	
R2. 9. 7	社会医療法人愛仁会	相互連携	大学院看護学専攻 NP コース開設に向けての協力
R2. 10. 5	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪みなと中央病院	相互連携	学生の救急時の受入
R2. 11. 30	イカリソース株式会社	相互連携	学校法人森ノ宮医療学園としての連携
R2. 12. 21	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	相互連携	

## Ⅱ．事業の概要

### 1．全体概要

#### (1) 部門別概要

##### 「学校法人森ノ宮医療学園」

- ・本学園では、年度ごとの事業計画と予算は、例年、当該前年度 11 月に各部門・各部署で原案を策定し、理事長および理事によるヒアリングを通じて学園全体のとりまとめを行ったうえで 3 月の評議員会に予め諮問の上、理事会で審議し、承認を受けている。
- ・さらに、当年度の 5 月に関係部署ごとに成果報告会と称するヒアリングを開催し、理事長や理事に対して前年度の成果や実績を報告するとともに、当年度計画の修正を行う機会を設けている。
- ・令和 2 年度においてもこれらを継続して実施した。令和 2 年度は、第 2 期中期経営計画（令和元年度～令和 5 年度）の第 2 年目に当たり、中期計画目標の達成に向けた施策を着実に実行した。
- ・人事制度改革については、森ノ宮医療大学（以下、「大学」と表記）の教職員と森ノ宮医療学園専門学校（以下、「専門学校」と表記）の教職員に対し、目標管理制度導入を進め、平成 28 年度にすでに完了した。その後、この職位・職能の定義を刷新し定着を進めるとともに、正職員転換等の際には、理事による人事面談を実施している。その結果、今後、制度の問題点について、より実効性・効率性が確保できる制度として定着と改変を継続的に進めている。

##### 「森ノ宮医療大学」

- ・コロナ禍の中、対面授業と Web 授業を混在させた質の高いハイブリッド授業を展開し、また独自に緻密かつ高度に構築した感染症対策を教職員が協働して展開し、学内クラスター等発生させることなく、学生・教職員の安全を確保しつつ大学を稼働させた。
- ・令和 2 年 4 月から新設された大学保健医療学部「診療放射線学科」・大学院保健医療学研究科「看護学専攻（修士課程）」・保健医療学部臨床検査学科「細胞検査士課程」は問題なく開始され順調な経過であった。
- ・本学大学教育の柱であるチーム医療教育：IPE（Interprofessional education）のより一層の充実を目指し、低学年からのチーム医療積み上げ教育を新たに付加した改変カリキュラムを令和 2 年度より配置し実施した。
- ・大学ブランディングと社会貢献を見据え、研究部門を強化するために、インクルーシブ医科学研究所を設置した。学科横断的な大学戦略的プロジェクトを構築・推進し、効率的に研究が進展させることができつつある。
- ・公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定された。
- ・学生の生活環境および学修環境の充実を目的として、2020 年度に竣工した桜棟において「さくらカフェ」の運用を開始したほか、食堂棟の改装、西棟においては基礎看護学実習室の増床などを実施した。また部室棟/新トレーニングルーム棟、およびコスモスクエア町づくり要綱に基づいたペDESTリアンデッキの建築を計画した。

- ・2020 年度は大学入試改革の元年となり、大学入試センター試験が廃止され、新テストとなる「大学入学共通テスト」がスタートした。本学においても受験者の質の向上を目的とし、独自試験に加えて新たに大学入学共通テストに参画。大学入学共通テストを用いた入学者選抜を実施した。
- ・学園附属クリニックの大学への移転を計画した。令和4年度の移転を目指し準備を進めている。

### 「森ノ宮医療学園専門学校」

- ・本校の教育目標や教育目的などを社会に周知するために、新たに学科ごとに、入学者の受入れに関する方針である「求める人物像」、教育課程の編成及び実施に関する方針である「教育方針」、卒業の認定に関する方針である「到達目標」の3つのポリシーを策定した。
- ・時代のニーズに応じ、社会に貢献できる柔道整復師を育成するため、2021 年度入学生から柔道整復学科アドバンスコースを柔整トレーナーコースへと名称変更し、かつカリキュラムの変更申請を行った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により、4月より対面授業を実施することができなかったため、5月に学校ホームページを利用した動画配信システムを導入し、オンデマンドでの授業配信を行った。
- ・学費減免及び給付奨学金を制度の骨子とする国の修学支援制度の対象校であるための機関要件の確認申請を行い、文部科学省から制度上必要な要件を満たした教育機関としての認定を受けた。これにより2020年度以降、要件を満たす本校学生は当該制度を利用できることとなっており、2020年度入学生より申請を行った。
- ・定期試験のみでは学習の進捗状況の把握は困難であることから、両学科において期中に実施する確認テストを実施し、定点観測を行えるよう試験結果の分析を実施し始めた。1年時から国家試験を見据えた模擬テストを重ねることにより、3年計画で国家試験合格に導く指導体制の確立を目指す。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により例年実施してきた学習関連ゼミや既卒国試浪人を対象とした森ノ宮塾の開催ができなかったが、それに置き換わる動画配信システムを導入し、自宅や通学時でも学習できる環境作りを行った。
- ・感染拡大予防のために、学生数が多いクラスでは7階講堂を利用した授業を実施した。そのために7階講堂にレーザープロジェクタを導入した。
- ・学生が動画等を利用した学習を円滑に進めるために7階講堂、アネックス4階に無線LANアクセスポイントを設置した。
- ・感染拡大予防のために、2階男子、5階女子、6階男子トイレのシャワートイレの交換工事を行った。1、2年生の各HR教室、実技教室に加湿器を設置した。1階エレベーターホール内にサーマルカメラを設置、2階職員室で監視できるよう配線工事を行った。
- ・図書室において、229冊の蔵書用図書を新規購入した。
- ・学生募集活動として、オープンキャンパスをはじめとした校内イベントを年間通して実施した。また、受験対象者別の各種広報誌作成、WEBサイトにおけるコンテンツの充実化を行った。その結果、資料請求者数は6,586件（昨年比122%）と昨年を上回る結果となった。イベント来校者数は新型コロナウイルスの影響により昨年度より実施回数も減少したため532名（昨年比93%）となった。
- ・従来から社会貢献の一環として小・中・高校への出張授業を実施しているが、2019年度については約30校に教員を派遣し実施した。
- ・「ココロとカラダに元気をプラス」をコンセプトに2013年から発行し好評を得ているフリーペーパー「ここ+から（PLUS）」を2020年度も4回発行した。

- ・奈良テレビ「ゆうドキッ！」および、ならどっとFM「十手リンジンの走れゴンタくれ！」に本校教員が出演し、奈良エリアで鍼灸師、柔道整復師として健康情報を中心とした情報発信を行っている。

#### 「森ノ宮医療学園ランゲージスクール」

- ・平成 31 年、外国人留学生に対して、日本語学校（教育施設）として森ノ宮ランゲージスクールを開校し、令和元年 10 月に大阪府から「各種学校」として認可された。
- ・将来のさらなる少子高齢化を見据え、学園の「建学の精神」や社会貢献の観点から、介護に携わる外国人等の人材育成事業を 2 段階に分けて事業展開することを機関決定し、令和 2 年度は、その各種学校において、新たな「介護福祉学科」を開設し、令和 3 年度からは計画通りの学生を確保し、運営を実施する予定である。

## (2) 主要事業

### ① 初年次教育・リメディアル教育プログラムの再構築

入学前教育・初年次（ゼロ年次）教育・リメディアル教育を連続的させるシステムを学修支援センターで検討し、入学前教育プログラム・プレースメントテストの業者選定を行った。教務室と連携し 2021 年度から稼働させる。より効率的な学修プログラム確立のため、プレースメントテストの結果をリメディアル教育プログラムであるステップアップ講座に結び付けるフローを構築した。

### ② 大学院看護学専攻（D）設置申請/看護学部、総合リハビリテーション学部、医療技術学部の設置申請

2022 年 4 月に大学院保健医療学研究科に看護学専攻（D）、保健医療学部を 3 学部に分割する申請に取り組み、2021 年 4 月文部科学省に書類を提出する。

### ③ 柔道整復学科柔整トレーナーコース、スポーツ・臨床センターの開設

柔道整復師に加えてパーソナルトレーナー資格の取得が可能となる新コース「柔整トレーナーコース」を 2021 年 4 月に柔道整復学科に新設した。それに伴い、柔整トレーナーコースの実習施設としてスポーツ臨床センターを開設した。スポーツ臨床センターは、トレーナーを目指す学生だけでなく、鍼灸師・柔道整復師の資格を取得後、患者さんの QOL を高めるための運動療法等を修得すべく学内だけでなく外部と協同した活動も実施していく。

### ④ ランゲージスクール収容定員増

2020 年度適正校の承認を得ることができなかった。2021 年度には適正校となり、ランゲージスクールの収容定員を 100 名から 150 名へ増員の申請を目指す。

### ⑤ 介護福祉士養成学科開設準備

2021 年 4 月、介護福祉士学科を設立した。

## 2. 森ノ宮医療大学

### (1) 実施事業の概要

#### ① 教育研究機関としてのブランディング強化

平成 31 年度に引き続き、医療系総合大学としての拡充・認知度向上・ブランディングを目指し、また、関西圏の医療職養成大学群内でのプレゼンスを高めるため、教育研究内容/環境のさらなる充実に取り組んだ。

令和 2 年度の開設した保健医療学部診療放射線学科・大学院看護学専攻は募集状況も極めて良好で順調に推移。新設したさくら棟は、講義室・最新の画像診断装置を配置し実習室・カフェが順調に稼働した。また本学教育カリキュラムの根幹である IPE (Interprofessional education) カリキュラムは平成 31 年度に低学年からの積み上げ教育を意識してブラッシュアップされ、令和 2 年度に配置された。コロナ禍のため病院見学実習(大阪急性期総合医療センター・国際がんセンター・日本生命病院・関西メディカル病院)等は実施不能であったが、IPW 論・ケースカンファレンス等はオンラインで実施した。引き続き、動画作成などを踏まえた、コロナ禍における効果的な IPE プログラムを検討する。

研究面では、インクルーシブ医科学研究所を設置し、全学的な戦略的研究プロジェクトをチーム研究体制で取り組む体制を構築した。さらなる研究活動・社会発信の推進を加速させる基盤ができた。若手研究者育成・さらなる研究業績の積み上げと外部研究資金獲得も目指す。

#### ② 感染症対策

コロナ禍に対応した大学運営を行った。健康管理センターを中心に、厳密かつ効率的な感染対策ルールを策定し全学に徹底。保健所とも連携しつつ、教職員・学生による学内クラスター発生を抑制した。また感染状況に対応した教学ガイドラインを策定し、感染状況にマッチした授業展開を行った。対面授業とオンライン授業のハイブリッドカリキュラムを感染状況に合わせて展開し、安全と教育の質担保を両立させた。

#### ③ 学生支援サービスの強化

コロナ禍における学生の学修環境確保に向けて、ソフト、ハード両面の強化を行った。学生への感染防止を最優先し、4 月は全授業を休講、5 月よりオンライン授業を行うこととなったため、学生がオンラインで行なわれる授業に取り組む環境を整備できるよう、本学独自の学修支援金(学生 1 名につき 20,000 円)を支給した。またこの間、学生からの生活、進路、履修、学修等、様々な相談に対応できるよう、学生専用のメール相談窓口を開設し、学生相談を随時受け付け、従来の窓口業務と同様の対応を行った。5 月下旬より段階的に学生の通学を再開し、感染防止を目的としてマスクならびにフェイスガードを全在學生に配布し、通学時ならびに授業時の着用を義務付けた。これらの対応策が奏功し、授業の大幅な遅れもなく、授業と学修環境の質を担保することができた。また、学費に関する学生からの相談件数が増加したことを受け、国からの修学支援に関する制度の周知案内や手続きを滞りなく進めたことに加え、森ノ宮医療学園校友会の支援を受け、森ノ宮医療学園独自の新たな奨学金制度を整備し、学費への支援体制の充実を図った。

#### ④ 募集戦略と入試制度改革

2020 年度の学生募集活動は、前年度同様に本学の特徴である「チーム医療教育」、そして「医療系総合大学としてのさらなる進化」として診療放射線学科の開設と新棟さくらポート完成による学びと施設の拡充を前面に打ち出した広報展開で、ブランディング強化を図った。また 2020 年度は高大接続改革として多面的評価が求められた入試のスタートであったが、本学では従来からそのような評価を取り入れた

入試を実施していたため、入試内容については大きな変更を行わなかった。一方で新たに大学入学共通テストを利用した入試を導入したほか、入試区分や入試制度の見直しを行い、総合型選抜後期における両日出願制の導入など、より受験しやすい入試制度へと変更した。この結果、多くの大学で志願者数が減少に転ずる中、本学は4,818名という過去最大の志願者数を集めることができた。

#### ⑤ 地域連携の取り組み

新型コロナウイルス感染症の流行により、新たな地域連携に関する取り組みを開始するには至らなかったが、これまで行ってきたいくつかの取り組みについて、感染予防対策を講じて実施した。地域の健康増進を目的とした市民公開講座は、事前申込制とし、会場設営の工夫や参加者情報の収集を行って開催した。結果的に、新型コロナウイルス感染症流行前と同程度の参加者数があった。また2019年度から高齢者支援活動として、南港ポートタウン（太陽のまち）で実施している「もりもりまちの保健室」も学生ボランティアや教員の人数を減らし、換気や消毒を十分にしたうえで、数回行うことができた。

#### ⑥ 各部署の取り組み

##### 【看護学科】

看護学科において取り組んだ主な事業は、教育の質の向上・教育内容の充実、国家試験対策の強化、教員の研究力向上、大学院看護学専攻の定員確保であった。

教育の質の向上・教育内容の充実については、コロナ禍であったが、看護学科教務委員会や臨地実習委員会を中心に、オンライン授業や学内実習におけるシミュレーション教育の充実を図った。日本看護学教育評価機構（JABNE）の2021年度受審に向けて自己点検・評価報告書を作成した。自己点検・評価を行うことにより、看護学科の教育課程の評価ができた。改善策を検討することにより教育の質向上につながる。2022年度より保健師助産師看護師学校養成所指定規則が改正となるため、カリキュラムの見直しを行った。

国家試験対策については、卒業研究担当教員やチューターが担当学生の指導に当たった。模擬試験の成績が下位20%の学生は強化クラスとして補講を行い、その中でも下位の数名は特訓クラスとして個別対応を行った。看護師国家試験・保健師国家試験ともに100%の合格であった。

教員の研究力向上については、前年度より看護学科研究支援委員会を設置し、教員の研究活動を促進するための企画を行ってきたことにより、教員間の研究活動が可視化され活発に取り組むようになった。今後は論文投稿による実績を積んでいく必要がある。

大学院看護学専攻の定員確保については、次年度の入学者が3名しか確保できなかった。コロナ禍であり実習施設や卒業生への積極的な募集活動ができなかった。次年度は2022年度からの看護学専攻博士後期課程およびNPコース開設に向けて、教員全体および広報課とともに積極的に募集活動を行い、入学定員確保に向けて検討する。

（学科長：吉村）

##### 【理学療法学科】

2020年度の国家試験において現役生は96.7%の合格を達成した。しかし昨年度は100%であったため、目標に到達しなかった。早期からの対策システムを構築してきたが、出願して受験できなかった学生が4名いたため、教育指導・システムの改善が必要である。

2020年度の4年間卒業率については81.4%で昨年度の84.3%よりもやや低下し、目標とした95%を達成できなかったものの、80%以上は、全国の大学平均73.1%と比較しても高水準だと考える。



第一志望就職率は 73.2%と昨年度の 72%よりも僅かに改善した。

学内教育では、OSCE を開始し、実習前後教育の質を向上して臨床教育の充実を図ることができた。また指定規則改訂に向けた新カリキュラムを 2020 年度より開始した。コロナ禍で対面授業の減少が避けられなかったが、オンデマンド授業に関して概ね円滑に進めることができ、且つ学科内でのクラスターも防ぐことができた。また学外実習指導者を養成するための指導者講習会を学内で実施できた。

社会貢献においては、地域における介護予防教室はコロナ禍により殆どが中止となった。

アドミッションにおいては、一定数の高校出張講義を実施し、限られた仕組みながらオープンキャンパスでの模擬講義も実施し、学科志望者数はほぼ昨年ベースを維持できた。

(学科長：三木屋)

### 【作業療法学科】

作業療法学科の取り組みとして、国家試験対策の強化ときめ細やかな教育・学習支援に継続して取り組んだ。国家試験対策としては、ワーキンググループを立ち上げ、3 日間の国試塾を始め、帰れま 100 の基礎学習の徹底、アクティブラーニングを中心としたグループワーク・ペア学習などを実施した結果、近畿圏内の大学では京大・神戸大・府立大に続き私学では本学の 4 校のみが合格率 100%を獲得することができた。就職は、第 1 希望就職率 76%、臨床実習地就職率 81%であったが、就職率は 100%を達成できた。その他任意資格として、福祉住環境コーディネーター 17 名、メンタルヘルスコーディネーター 35 名、認知症サポーター 36 名が資格取得できた。

きめ細やかな学習支援としては、i)入学前教育(課題) ii)1 年次からの基礎医学補講(担任チューター担当) iii)4 年間継続した模試の実施(3 科目模試・国試過去問) iv)当事者ゲストスピーカー参加型授業 v)実習前や授業内において客観的臨床能力試験(objective structured clinical examination: OSCE)の導入・ルーブリック評価の実施 vi)臨床実習(CCS 方式)・コロナ感染拡大に伴う学内実習の実施・臨床実習指導者研修・オンライン SV 会議&研修 vii)オンライン卒後教育研修・学術大会作業療法学科主催 viii)実習・社会貢献・研究支援などに関して、ワーキンググループなども立ち上げ、積極的に行った。授業においては、オンラインやオンデマンド配信に対する取り組みを通して、学生への不利益が生じないよう、教育の質を担保すべく、teams/zoom/moripa を活用し、教員一丸となって取り組んだ。演習や実習では感染対策を十分配慮し、三密を避け、健康管理表チェックなど確認を行った。

(学科長：小林)

### 【臨床検査学科】

2020 年度、臨床検査学科は①国家試験合格率の向上、②医療人に適した学生の確保、③臨地実習施設と就職の確保を重要課題としてきた。

#### ①国家試験合格率の向上

国家試験対策としては昨年度の反省点を踏まえ、チューター制度導入、国家試験対策メンバーの刷新、きめ細かい国家試験対策スケジュールを行い、システム化された国家試験対策を構築してきた。その結果、2020 年度国家試験合格率は 2019 年度に比較し、飛躍的に向上した。しかしながら、合格率 100%には届かなかった。2021 年度は学科教員も増員され、より学生の学力に応じた指導、1 年次から国家試験を見据えた授業を行い、国家試験合格率の向上を目指したい。

#### ②医療人に適した学生の確保

在学中にさらなる知識の向上と専門職資格を習得できる細胞検査士資格取得コースが始動した。今年度は講師の確保、学内実習に必要な体制作りを行い、来年度からの選択授業の準備が整った。一方、学科の志望者数は減少に転じている。特に第一志望の学生の減

少が気になる場所である。今後は新型コロナウイルス感染症診断における臨床検査の必要性などを世間にアピールし、広報部と連携して臨床検査の認知度向上、学生募集の増加を目指していく。

### ③臨地実習施設と就職の確保

臨地実習受け入れ施設は57医療機関で関西一の実習施設と提携している、その4割は地域医療の中核を担う500床以上の基幹病院となっている。学生には先端医療を経験し、臨床検査技師としての専門的知識・技能を深め、実践能力を培うことができる環境を整えている。就職に関しても学生支援室と協働し、2020年度国家試験合格者の病院就職率は90%以上と高い結果になった。

(学科長 脇)

## 【臨床工学科】

臨床工学科では、2020年度も「国家試験合格率100%」、「4年卒業率95%以上」を目指し、①知的能力の向上による人間力の向上、②学習習慣の確立と日常の自己管理、③ティーチングメソッドの開発、④学生確保の取組、⑤教員の研究活動と研修の充実といった5つの課題を設定した。

2020年度前期は新型コロナへの対応として講義動画の作成に迫られたが、動画作成において、各スライドのノートに記載されたテキストを音声で読み上げるユーティリティの開発を行った教員のお蔭で、各教科での講義動画の作成が順調に進んだ。結果として、学生が国家試験対策として自主的に学習に活用できる教育用コンテンツとしての講義動画を科内教員の取組の結果として充実させることができた。更に、「国家試験合格率100%」の達成のために、講義動画だけに留まらず、国家試験問題の解説動画といった、より国家試験対策に直結する動画を作成することが可能となったので、ノートパソコンのみならず、スマートフォンを活用したコンテンツの作成を行い、学生の知識レベルを高めたと考えている。

2020年度後期からは、学生の学習習慣の確立と日常の自己管理として、最高学年の3年生を対象に模擬試験の結果によるクラス分けを実施し、クラス毎にチュータとしての教員を配置し、学習方法及び学習時間の記録指導を開始した。これにより学生個々の学習習慣の確立と日常の自己管理の改善が可能となったので、この取り組みを推進し、国家試験ワーキンググループによる更なるバージョンアップを目指したいと考えている。

学生確保の取組については、コロナ渦によりサマースクールといった従来から実施してきたイベントは中止となったが、図らずとも、新型コロナの感染患者への治療において臨床工学技士への注目度が高まってきたので、広報課と協同し、本学科の周知を図りたいと考えている。一方、大阪府内に新たな養成校も開校されるので、上位の高校生の確保の観点からも、「国家試験合格率100%」を達成するために、学生個々の知的能力的要素を高めることに注力したいと考えている。

教員の研究活動と研修の充実については、学科教員査読付き論文において和文2編、英文16編で、筆頭著者は8名であり、他学科との協同での研究活動も活性化してきているため、従来通り、研究・研修活動を奨励していきたいと考えている。

(学科長：片山)

## 【診療放射線学科】

診療放射線学科は開設初年度で、学生との信頼関係の構築を第一に担任・チューターによる個別指導と面談を重ねている。また保護者とは、「保護者懇談会」および「学科だより」により連携を深めている。

国家試験への意識付けとして、「基礎ゼミナールで」で放射線医療を学ぶ道標を示し、職業理解を高めるとともに診療放射線技師としての将来像をセルフイメージできるようにした。10月より隔週で「基礎医学大要のドリル」をWeb配信するとともに定期的な確認テストを行うことで、国家試験科目に対する学修成果の把握・可視化に取り組ん

でいる。さらに3月末には国家試験と同様の運営による「学内模擬試験」を実施することで国家試験に対する意識を高めた。

学生同士が切磋琢磨することによる学習意欲の向上とチーム学習の推進をはかるため、10月より国家資格である「第1種放射線取扱主任者」の資格取得をサポートするMicrosoft Teams(チームス)を利用したリモートによる「主任者対策ゼミ」を開始した。有志20～30名が参加し、4週間で1クールの課題を5クール行った。教育内容の充実とティーチングスキル向上のため、シラバスやルーブリックの情報共有、Web講義の理解を高める教育コンテンツや教材の作成及び活用法の情報収集、2021年度から始まる学内実習の内容・構成の検討と環境整備を行った。研究活動の推進のため、10月より学科内研修会を定期的(月1回)に開催し、学科内連携、他学科連携及び他施設連携を視野に研究体制と環境の整備、および課題の創出に取り組んでいる。

「森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科」および「診療放射線技師」の知名度向上と志願者増加を目指し、教員の研究テーマ・これまでの業績・学会活動等の発信を開始した。また、本学のHP等で実習設備・機器を積極的に発信したことで、外部からの施設利用が2件あった。

(学科長：小縣)

#### 【鍼灸学科】

学生募集の結果、2021年度新入生は59名となり7年ぶりに定員を下回った。第一志望入学者は51であり、例年よりも約10名減となった。背景として2021年度募集より1科目入試を廃止して他学科と同様の入試制度を導入したこと、指定校の削減および評定上昇を行ったことがあげられる。これらは入学生の質を確保して学科偏差値を向上させる目的で変更され、近年の志望者数の増加から十分に可能と判断した。しかしCOVID-19の蔓延によるオープンキャンパスの中止および定員制導入による参加者の激減の結果、他大学との違いをアピールする場を失ったことで、当初の想定とは異なる結果となった。2022年度募集に向けては学科広報戦略を充実させ、定員の充足を目指す。

国家試験の現役合格状況は、はり師・きゅう師ともに46/49名(93.9%)で全国平均(はり師70.0% きゅう師72.2%)を上回った。新卒合格率(はり師87.8% きゅう師89.1%)も上回り、近年の低迷から回復傾向を示した。合格者数も西日本一位を維持し、定員に対する受験率は大学1位を示したことから、定員充足率および受験率の高い養成校を維持している。一方で4年在籍者全員が受験に導いていないことは課題である。また、既卒者合格率も課題となっている。低学年からの教育強化および脱落者の減少を目指す必要がある。度末時点での単位修得率は82.1%(1年生55/65 94.2% 2年生53/60 88.3% 3年45/57 78.9% 4年生49/64 76.6%)でいずれも前年度を上回った。国家試験を受験した卒業生の進路決定率は100%であった。都道府県の教員採用試験合格者は6名で過去最多となったが、全員既卒生であった。現役合格者の排出を目指したい。

学科教員査読付き論文は和文9編、英文2編で、筆頭著者は7名であった。投稿論文数を増加傾向にあり、複数教員による共同も増加している。一方で附属施術所来院患者を対象とした研究は進んでおらず、今後は臨床施設における研究の推進を課題とした。

(学科長：鍋田)

#### 【大学院保健医療学研究科】

##### 1) 学生募集

看護学専攻修士課程を開設した。保健医療学専攻修士課程8名入学(在籍計17名)、看護学専攻修士課程2名入学(在籍計2名)、医療科学専攻博士後期課程1名入学(在籍計6名)となった。COVID-19感染拡大に伴い大学院説明会の開催が一部中止となった。

## 2) 授業関連

COVID-19 感染拡大によりオンライン授業が中心となり、一部の院生に学位論文のための研究指導が遅延した。医療科学専攻博士後期課程の令和 3 年度からのカリキュラムを学科増設された現状に即して改編し、より多様な医療職が入学できるようにした。

## 3) 学位授与

保健医療学専攻において 9 名の修士（保健医療学）、医療科学専攻において 3 名の博士（医療科学）の学位を授与した。論文博士の制度開始に向けて情報収集した。

## 4) 看護学専攻博士後期課程の設置準備

看護学専攻博士後期課程の令和 3 年度届出、4 年度解説開設を目指して学長室および教務室との協働により設置準備作業を進めた。

## 5) 学術セミナーの開催

月 1 回の開催予定であったが COVID-19 感染拡大により 4～7 月を中止して延期し、8 月より年度内に第 97～103 回大学院学術セミナーを 7 回開催した。講師は本学教員 6 名、第 100 回記念として外部招聘講師 1 名（宮坂昌之大阪大学招へい教授）が担当した。

（研究科長：山下）

## 【助産学専攻科】

2020 年度においては、1) 内部受験生の増加と質の向上、2) 外部受験生の受験率のアップによる学生の質の向上、3) 長期に分娩介助実習を依頼できる新規施設の開拓、4) 国家試験対策の強化、5) 教育備品の充実、6) 教員の増員を掲げた。

1) の内部受験生の増加に関しては、2020 年度にはじめて 6 名もの内部生が入学した。外部受験生も雑誌投稿等や広報の効果があり、3 倍の受験率となった。しかし、入試基準で内部進学生の看護在学中の成績基準を設けなかったために、倍率が大きかった外部受験生との学力差が目立った。さらにコロナ禍の自宅でのオンライン講義の影響を受け、入学早期に学生の気質を見極めての効果的な教育ができなかったこともあり、前期で内部生 3 名の退学を出してしまった。そのことは、教育者として大きく反省している。そこで 2021 年度内部入試の受験基準を GPA3.0 にし、結果 6 名が合格した。2) の外部の受験生についても目標の受験率の 3 倍を達成できた。その成果が学生の質の向上につながると期待したい。3) については、コロナ感染拡大で、理想とする実習が望めず、実習を断られた施設が 2 施設、時間の短縮となった施設が 1 施設あった。その中で、実習可能な施設と連携し、何とか全員 8 例の分娩介助数となったことが救いである。コロナ感染状況が続く場合、いかに卒業時の到達度を達成するか、そのためには学内の演習で教育効果を上げることなど、さらなる課題が明確となった。4) については全員が国家試験に合格し、これで開設時から 100%の合格率を維持できているが、合格は専攻科の使命でもあるので今後も引き続き、強化に努める。5) 教育備品の充実については、上層部の配慮のもと、備品の整備が年度ごとになされ、充実に向けて進んでいる。6) の教員の増員は、実習に同時に多施設に行くことから、要望していたが、2020 年度は、退学者が出たこと、2 施設の実習のお断りがあり、教員と非常勤教員で何とか実習が可能であった。2021 年度には学生が 11 名と定員より 1 名増加になるため、さらに実習施設が増え、教員の増員と非常勤助手の人員の確保は喫緊の課題である。

今後も森ノ宮医療大学助産学専攻科のブランディングに努め、卒業生が、就職した各施設で認められ、活躍できるように教員一丸となって努力していく所存である。

（専攻科長：中西）

## 【研究支援センター】

本学の研究支援体制のさらなる充実を目指し、新たに下記の事業に取り組んだ。

- ・ 研究員等への科研費応募資格（特定応募資格）の付与体制の構築

本学の優秀な研究員等に対して一定の条件のもと科研費応募資格（特定応募資格）を付与することで、本学の科研費への応募促進ならびに獲得件数の増加に繋げること

を目的として本体制を構築した。早速本制度を利用して優秀な研究員等より申請があり、審査を経て応募資格の付与を行った。

- ・ 本学 HP 研究活動ページのリニューアル

本学の研究面での情報発信の強化を図り、研究者の最新の優れた研究成果を効果的に発信するため、HP の研究活動ページについて、大幅なリニューアルを行った。

研究活動ページ URL : <https://www.morinomiya-u.ac.jp/research/>

- ・ インクルーシブ医科学研究所の設置

2020 年度より、学長推進研究支援事業「戦略的研究プロジェクト」の遂行のため「インクルーシブ医科学研究所：Inclusive medical science research Institute」を立ちあげた。戦略的研究プロジェクトは、本学第 2 期中期経営計画の中核施策の一つである「研究の森」づくりプロジェクトとしての位置づけであり、本学独自色を打ち出すことができる学科横断的な全学的研究プロジェクトを発掘・実施し、本学のブランディングを構築することを目的としている。また、このような分野混在・経験混在の研究者で構成されるチーム研究体制により、個々の研究者の時間的・能力的不足を補い、効率的な研究体制による若手研究者の育成・各研究者の業績積み上げを目指す。その実現のため、2020 年度は 5 つの研究チーム（運動療法エビデンス研究チーム・最新医療技術研究チーム・健康寿命研究チーム・障害支援研究チーム・統合医療エビデンス研究チーム）と 1 つの研究サポートチームの体制で各研究テーマを遂行し、1～2 カ月に 1 回程度で研究進捗状況報告会を開催して意見交換を行ってきた。また、本学チャンネルポートに研究所を設置し、研究チーム会議や報告会、意見交換等を行う場として提供し、更なるブラッシュアップに繋がるよう支援した。

また、学長推進研究支援事業としては、下記取り組みを継続して行った。

- ・ 学長推進研究支援事業 科研費 研究計画調書 閲覧制度による支援

科研費における研究計画調書の作成において有効な情報提供を行うことにより、応募の支援、促進、採択件数の増加を目指すため、研究計画調書の開示を行い希望者が閲覧できるようにした。

- ・ 学長賞（優秀論文賞）による表彰

研究活動の促進、研究発表論文投稿の奨励、ならびに優れた論文を広く社会に公表することで本学の学術研究の振興を図ることを目的として、優秀論文発表者に対して学長賞（優秀論文賞）を授与する制度を設けている。受賞者については学内のみならず本学ホームページにおいても公表し、本学研究者の研究意欲の向上を目指している。森ノ宮医療大学 第 3 回 学長賞および第 4 回 学長賞については下記研究者に対し表彰した。

森ノ宮医療大学 第 3 回 学長賞

堀 竜次 教授（理学療法学科）

Hori R, Ishida R, Isaka M, Nakamura T, Oku Y. Effects of noninvasive ventilation on the coordination between breathing and swallowing in patients with chronic obstructive pulmonary disease. *International Journal of Chronic Obstructive Pulmonary Disease*. 2019; 14: 1485-1494.

森ノ宮医療大学 第 4 回 学長賞

信江 彩加 助教（鍼灸学科）

Nobue A, Kunimasa Y, Tsuneishi H, Sano K, Oda H, Ishikawa M. Limb-Specific Features and Asymmetry of Nerve Conduction Velocity and Nerve Trunk Size in Human. *Frontiers in Physiology*. 2020; doi.org/10.3389/fphys.2020.609006.

さらに、その他の支援体制については下記のとおりである。

- ・文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」ならびに「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」に準拠した研究機関としての体制の維持・構築
- ・APRIN e-learning システムを利用した研究倫理教育の実施（研究不正の防止）
- ・研究費コンプライアンス研修会による倫理教育の実施（研究費不正の防止）
- ・内部資金研究費の研究実態に応じた適正配分による効率的な研究推進・研究活動支援
- ・科研費等外部資金研究費の応募・申請支援（研究計画調書の事務的確認・支援、その他応募支援）
- ・学術リポジトリ（web）上での「森ノ宮医療大学 紀要」の発刊

（センター長：青木）

#### 【健康管理センター】

学生数の増加に伴い健康管理体制のさらなる充実に取り組んだ。特に感染症予防対策・メンタルヘルスケアを拡充し、小児感染症ワクチン接種フロー等健康管理業務を効率的に一元化した。緻密かつ高度に構築した感染症対策を教職員と協働して展開し、学内クラスター等発生させることなく、学生・教職員の安全を確保した。

健康増進関連事項：

- ・禁煙宣言の遂行（敷地内および近隣の全面禁煙・違反者に対するマナー指導と禁煙サポート・入学時に誓約書の提出）
- ・携帯用血圧計購入(救急対応用)

健康管理関連事項：

- ・効率的な健康診断実施のための学校保健法に準じた検査項目見直しと経費削減
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策の実施（感染者数のリアルタイムでの把握とアナウンス、学科・教務室との密な連携による感染症発症者の抽出・確認・帰宅フローの構築、学生相談受付、登校制限・解除基準の策定、非接触型体温計の購入・アルコール手指消毒液設置の拡大、学生全員にマスクの配布、唾液 PCR 検査の導入と実施）
- ・医務室業務の充実
- ・みどりの風クリニックとの連携フロー策定
- ・外部のカウンセリングシステム（T-PEC）導入による医療サービスの拡充
- ・Will 申請業務の速やかな実施

臨地実習関連事項：

- ・臨地実習における実習前健康診断関連業務の一元化
- ・感染症予防対策に関する全学ルール統一（日本環境感染学会ガイドラインに準じた抗体価測定・B型肝炎ワクチン・小児感染症ワクチン接種ルール）と、それに準じた抗体検査～ワクチン接種統一フローの確立および臨地実習機関提出統一フォーマットの作成
- ・必要時 PCR 検査施行

メンタルヘルスケア：

- ・心理カウンセラー、看護師などによるカウンセリングの実施
- ・外部のカウンセリングシステム（T-PEC）導入による匿名相談窓口の拡充
- ・外部のハラスメント相談サービス（T-PEC）導入準備（2020 年 4 月開始）
- ・MOR I カフェ会開催、医務室放課後開放など何でも相談しやすい環境づくり
- ・休学者支援

（センター長：前川）

### 【学修支援センター】

学修支援センターは、従来からの在学生サポートに加え、入学試験形態の多様化に対応するため入学前サポート（＝0 年次教育）を開始した。この成果を入学後のスムーズな学修サポート展開につなげるため、次年度より入学時プレイスメントテストの導入予定であり、その準備に着手した。

また、学修支援講座（＝ステップアップ講座）においては、従来型の対面形式に加え、オンデマンド講座の配信や双方向型の web 講座を実施し、「with コロナ」の時代に適合した学修支援を実施した。

入学前学修支援：

- ・各学科合格者に対する支援内容の調整
- ・入学試験合格者への支援体制案内
- ・支援成果の集約

在学生学修支援：

- ・プレイスメントテスト導入準備（2021 年度入学生より実施）
- ・リメディアル科目の学修支援講座（＝ステップアップ講座）開講
- ・基礎医学科目の学修支援講座（＝ステップアップ講座）開講
- ・専門科目の学修支援講座（＝ステップアップ講座）開講
- ・オンデマンド学修コンテンツの運営
- ・卒業生を登用したメンター制度（＝センターアシスタント）の運営
- ・関連資格取得サポート
- ・国家試験対策サポート
- ・ICT 活用サポート

（センター長：角田）

### 【キャリアセンター】

キャリアセンターは、教職協働による学生の臨地、臨床実習および就職、進路に関する支援策の立案実施や情報共有を目的としている。今年度はコロナ禍において、例年通りの質を担保できるよう、臨地・臨床実習については各学科、専攻科の実習受け入れ状況やリモート実習など学内実習の方法を共有した。また就職支援については各種セミナーや就職説明会をリモートで開催するとともに学科毎のリモート説明会の実施状況を共有した。

（センター長：村上）

### 【教職支援センター】

本センターは、本学の教職課程の質的向上を目指すとともに、教員免許状取得及び教職への就業等、教職を志望する学生の支援を目的としている。医療専門職と教員免許状取得を両立させる環境を学生に提供するため、令和 2 年度は次の取組を行った。

各種ガイダンスの実施：

- ・教育実習内諾に関するガイダンス
- ・教育実習、介護等体験に関するガイダンス
- ・教員免許一括申請に関するガイダンス

教員採用試験対策：

- ・専任教員による一般教養・教職教養対策講座の実施
- ・卒業生に対してのサポート（筆記・面接・模擬授業・実技対策）
- ・教員採用試験対策に関する図書の貸出し

学校現場体験：

- ・学校ボランティアの紹介（中学校 1 校に 1 名が参加）

学生サポート

- ・学習面や進路等について学生との面談・相談を実施

教職事務の集約化：

- ・教育実習、介護等体験に関する業務
- ・教員免許申請に関する業務
- ・教職課程科目及び成績管理に関する業務
- ・教員採用試験、教員採用に関する業務

＜令和２年度 教職免許状取得実績＞

- ・教職免許状取得者数[教科：保健体育] 15名（留年生１名含む）
- ・教職免許状取得者数[教科：養護教諭] 7名

＜令和２年度 教員採用試験合格者実績（卒業生含む）＞

- ・教員採用試験合格者数：7名（全て卒業生）

（センター長：老田）

#### 【地域連携センター】

地域連携センターは、本学における教育・研究活動と地域社会をつなぐことにより、本学の地域貢献活動を総合的かつ組織的に遂行することを目的として設置された教職協働の組織である。令和２年度はコロナ禍のため予定していた「もりもり広場」などの地域貢献イベントの実施ができなかったものの、学内における地域貢献活動情報を集約する仕組み作りの構築に注力し、情報の収集、分析を図った。

（センター長：青木）



### 【総務室】

総務室では、2020 年度に受審した公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評価について、自己点検評価書の作成、事前調査、実地調査など、関係各部署と連携し、受審に関わる業務全般を行い、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定された。

施設設備の面では、新校舎となった「さくらポート」（桜棟）2 階「さくらカフェ」の開設、運営、および食堂棟改装に取り組むなど、学生の生活環境向上に注力した。その他にも、基礎看護学実習室の改修、西棟 6 階 IPE ルーム、演習室の設置などを行い、学生の学修環境向上を図った。コロナ禍における学校運営においては、マスク、消毒液などの確保、サーモグラフィの設置など施設設備全般における新型コロナウイルス対策を行ったほか、情報システムの面では、教務室と連携し、オンライン授業を見越した教務システム「MORIPA」のリニューアルを企画するとともに、森ノ宮医療大学 WEB 活用推進プロジェクト：「green innovation」の立ち上げを行った。また、入学式を四部制、卒業式を三部制で実施するなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した式典運営を計画、実施した。

人事戦略としては、2021 年度新卒採用を推し進める一方、大学教職員向け全体研修（SD 研修）を企画し、WEB での受講を実施した。

（総務室長：瀬川）

### 【教務室】

教務室では通常業務に加え、大学の学部再編ならびに大学院看護学専攻博士後期課程の開設に伴う文部科学省への申請業務、並びに看護学専攻博士前期課程に高度実践看護師の育成を目的とした NP（診療看護師）養成課程の開設に伴う業務支援等、新規案件に多数従事した。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン授業の実施が必要となったことから、各大学の実践状況の情報収集、本学が有しているハード及びソフトの検証を行い、授業形式の検討やツールの選定等、オンライン授業実施における支援業務に従事した。なお、2020 年度より開講した IPW 関連科目である「MBS (Morinomiya Basic Seminar)」、「チーム医療見学実習」についても新型コロナウイルス感染症拡大の影響により授業計画の変更や開講延期を余儀なくされたため、授業のオンライン化及び代替案の検討等、対応を行った。2021 年度以降も新型コロナウイルス感染症拡大の影響が想定される中で、本学の掲げる「低学年からのチーム医療に関する積み上げ教育」を実践できるように IPW 関連科目の開講準備及び教育内容等の見直しと改善を進めたい。

（教務室長：竹中）

### 【学生支援室】

学生支援室では学生の進路支援と実習先との連携強化を目的とし、これまで教務室業務として取り扱っていた臨地・臨床実習に関する業務と国家試験に関する業務を集約した。これにより、学生には実習や就職に関する手続きの更なる迅速化と効率化を、医療施設に対しては実習と就職に関する窓口を 1 本化することにより、担当者間の連携強化と迅速な情報共有、ならびに手続き等の簡略化を進めることができた。これにより、実習先への就職率や第一希望就職先への就職率が向上した。

また、今年度においてはコロナ禍の影響を受け、学費ならびに奨学金に関する相談件数が増加し、日本学生支援機構などの奨学金利用者数も増加した。奨学金利用者ならびに利用希望者に対し、インターネット等を活用して迅速な情報提供を心掛け、対応数が増加したにもかかわらず、期日を過ぎることなく速やかに手続きを進めることができた。学生生活や心身に関する相談件数も増加傾向にあり、学生相談窓口が学生に認知されつつあることが裏付けされた。

課外活動支援については十分な活動を行うことができなかったため、引き続き学生会などとも連携し、感染症対策には配慮しつつ、学生の意向を尊重し、活動支援を行いた

い。引き続き学生からの様々な要望を拾い上げ、迅速に対応できる仕組みを維持し、学生に寄り添った学生支援体制の強化に努めたい。

(学生支援室長：在川)

#### 【学長室】

学長室では学部再編に伴う看護学部と総合リハビリテーション学部の設置および看護学専攻(博士後期課程)新設、学部名称変更に関する文部科学省への事前相談や届出書類および指定申請書類の作成を行った。2021 年 4 月に文部科学省に提出する予定である。

社会連携活動としては、大阪府内の医療法人・病院との連携協定を新規に 3 件締結したほか、地域連携の主幹部署として 10 月 25 日に市民公開講座「フレイル予防で健康長寿」を開催した。また、南港ポートタウン(太陽のまち)において、看護・理学・作業の 3 学科の教員が中心となって、「もりもりまちの保健室」と題した高齢者支援活動を 9 月～11 月に実施した。

そのほか、2025 年の大阪・関西万博に関連し REBORN コンテンツ発掘プロジェクトへのアイデア提案の学内取り纏めをおこなった。また、「大学コンソーシアム大阪」を母体とする「大阪府地域連携プラットフォーム」に参画したほか、IR 活動としては、学生データの分析を行った。そのほか、教職員どうしの交流や理事長と教職員のコミュニケーション促進などを目的に「理事長と教職員の茶話会」を ZOOM で運営し、教職員 27 人が参加した。

(学長室長：小島)

#### 【広報室】

2020 年度の学生募集活動は、コロナ禍の影響により、当初の年度事業計画の学生募集戦略から軌道修正を行いつつ、本学認知度の向上、さらには志願者確保に努めた。オープンキャンパスを初めとする各種対面型のイベントを中止や規模縮小にせざるを得ないなか、WEB での広報展開を強化し、公式サイトでは動画を中心に各コンテンツの充実を図った。また、各種対面型イベントについては、高校生・受験生が進路を考える重要な機会として捉え、可能な限り「中止」という選択をせず、コロナ感染防止対策を講じながら、規模やプログラム内容、開催日程の変更などを熟思し実施した。

この結果、資料請求者数、公式サイトアクセス数は前年と比べると若干減少したものの、志願者数は前年を上回り過去最大の人数となった。

- ・年間資料請求者数：29,663 件（前年比 95.5%）
- ・年間 WEB サイトユーザー数：666,682（前年比 99.0%）
- ・志願者数：4,818 名（前年比 108.2%）

(広報室長：石塚)

#### 【会計室】

会計室では国の修学支援新制度への対応やコロナ禍における緊急措置として「学修支援金」の給付取りまとめを行った。2020 年度の同制度利用者 204 名となった。

学内電子マネー関連では、桜棟が新設され・さくらカフェ開店にあたり、チャージ機が増設された。また自動証明書発行機の収納庫の新たな対応にあたった。

また、部署別の年度予算管理や卒業研究費の予算管理資料については、昨年度に引き続き、月末締ベースで行い、予算執行の実績把握や予算編成時の参考資料を整備した。

(会計室長：岩崎)

#### 【入試室】

入試室では従来総務室が担当していた入試運營業務を引き継ぎ、年間通して入試運営ができる体制を構築した。また、従来広報室が担当していた入試に関する制作物も引継ぎ、各部署で担当していた入試に関する業務を集約した。2021 年度以降は入試の作問業務を学長室から引継ぎ、入試の専門部署としての体制を確立させていく予定である。

コロナ禍における入試運営においては、受験者の健康チェック、試験会場の換気・消毒、受験者間のソーシャルディスタンスの確保などの新型コロナウイルス感染対策を行ったほか、罹患者に対する受験日の振替など受験機会の確保を検討し対応した。

また、2020年度は大学入試改革の元年となり、本学においても大学入学共通テストに参画し、大学入学共通テストを用いた入学者選抜を新たに実施した。今後は入試結果において更なる分析を行い、入試制度・入試日程について受験生が受験しやすい体制の強化を図っていく。

(入試室長：瀬川)

## (2) 事業成果の概要

### ① 在学生数・定員充足率・退学者数等の推移

② 学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
鍼灸学科	1 年生	70	68	69	59
	2 年生	64	64	63	65
	3 年生	61	62	59	60
	4 年生	75	67	69	66
	計	270	261	260	250
定員		240	240	240	240
定員充足率		112. 5%	108. 8%	108. 3%	104. 2%
退学者数		17	14	12	
退学率		6. 3%	5. 4%	4. 6%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
理学療法学科	1 年生	70	70	70	70
	2 年生	70	69	70	70
	3 年生	70	65	67	69
	4 年生	77	69	70	70
	計	287	273	277	279
定員		250	260	270	280
定員充足率		114. 8%	105. 0%	102. 6%	99. 6%
退学者数		11	4	3	
退学率		3. 8%	1. 5%	1. 1%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
看護学科	1 年生	90	90	90	90
	2 年生	90	89	87	90
	3 年生	86	83	88	85
	4 年生	89	83	83	92
	計	355	345	348	357
定員		330	340	350	360
定員充足率		107. 6%	101. 5%	99. 4%	99. 2%
退学者数		13	5	4	
退学率		3. 7%	1. 4%	1. 1%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
臨床検査学科	1 年生	72	72	72	72
	2 年生	72	70	71	69
	3 年生	72	70	68	68
	4 年生		71	68	69
	計	216	283	279	278
定員		180	240	250	260
定員充足率		120. 0%	117. 9%	111. 6%	106. 9%
退学者数		5	7	7	
退学率		2. 3%	2. 5%	2. 5%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
作業療法学 科	1 年生	53	50	52	45
	2 年生	49	52	50	49
	3 年生	42	42	47	48
	4 年生		41	43	48
	計	144	185	192	190
定員		120	160	160	160
定員充足率		120.0%	115.6%	120.0%	118.8%
退学者数		9	5	9	
退学率		6.3%	2.7%	4.7%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
臨床工学科	1 年生	70	71	66	71
	2 年生		68	69	62
	3 年生			68	68
	4 年生				66
	計	70	139	203	267
定員		60	120	180	240
定員充足率		116.7%	115.8%	112.8%	111.3%
退学者数		2	2	7	
退学率		2.9%	1.4%	3.4%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
診療放射線 学科	1 年生			90	93
	2 年生				89
	3 年生				
	4 年生				
	計			90	182
定員				80	160
定員充足率				112.5%	113.8%
退学者数				1	
退学率				1.1%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
学部計	1 年生	425	421	509	500
	2 年生	345	412	410	494
	3 年生	331	322	397	398
	4 年生	241	331	333	411
	計	1342	1486	1649	1803
定員		1180	1360	1530	1700
定員充足率		113.7%	109.3%	107.8%	106.1%
退学者数		57	37	43	
退学率		4.2%	2.5%	2.6%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
大学院 修士課程 (保健医療学 専攻)	1 年生	7	9	8	8
	2 年生	4	6	9	8
	計	11	15	17	16
定員		12	12	12	12
定員充足率		91.7%	125.0%	141.7%	133.3%
退学者数		1	0	0	
退学率		9.1%	0.0%	0.0%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
大学院 修士課程 (看護学専 攻)	1 年生			2	3
	2 年生				2
	計			2	5
定員				6	12
定員充足率				33.3%	41.7%
退学者数				0	
退学率				0.0%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
大学院 博士後期課程	1 年生	4	1	1	3
	2 年生		4	1	1
	3 年生			4	2
	計	4	5	6	6
定員		2	4	6	6
定員充足率		200.0%	125.0%	100.0%	100.0%
退学者数		0	0	0	
退学率		0.0%	0.0%	0.0%	

学生数		2018. 5. 1	2019. 5. 1	2020. 5. 1	2021. 5. 1
助産学専攻科	1 年生	10	9	10	11
	計	10	9	10	11
定員		10	10	10	10
定員充足率		100.0%	90.0%	100.0%	110.0%
退学者数		1	1	4	
退学率		10.0%	11.1%	40.0%	

②2021 年度 保健医療学部 入学試験受験者数

看護学科	志願者数			受験者数			合格者		
	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計
総合型選抜 前期	86	9	95	86	9	95	5	0	5
総合型選抜 後期 【学力重視型】A日程	346	28	374	336	25	361	36	0	36
総合型選抜 後期 【学力重視型】B日程	327	26	353	317	23	340	35	0	35
一般選抜前期 A日程 3科目型	85	7	92	81	7	88	26	0	26
一般選抜前期 A日程 2科目型	148	2	150	142	2	144	39	0	39
一般選抜前期 B日程 3科目型	53	1	54	48	1	49	12	0	12
一般選抜前期 B日程 2科目型	72	1	73	64	1	65	18	0	18
一般選抜 中期	95	5	100	91	5	96	9	0	9
一般選抜 後期	87	2	89	82	2	84	4	0	4
大学入学共通テスト 利用選抜	6	1	7	5	1	6	2	0	2
社会人選抜 I 期	2	0	2	2	0	2	1	0	1
社会人選抜 II 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定校推薦選抜	12	0	12	12	12	12	12	0	12
計	1319	82	1401	1266	76	1342	199	0	199

理学療法学科	志願者数			受験者数			合格者		
	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計
総合型選抜 前期	52	18	70	52	18	70	6	0	6
総合型選抜 後期 【学力重視型】A日程	154	53	207	151	52	203	28	0	28
総合型選抜 後期 【学力重視型】B日程	142	53	195	139	51	190	23	0	23
一般選抜前期 A日程 3科目型	44	21	65	41	21	62	19	0	19
一般選抜前期 A日程 2科目型	73	9	82	70	9	79	30	0	30
一般選抜前期 B日程 3科目型	9	8	17	9	7	16	5	0	5
一般選抜前期 B日程 2科目型	16	10	26	16	9	25	7	0	7
一般選抜 中期	24	22	46	22	22	44	3	0	3
一般選抜 後期	17	14	31	15	13	28	9	0	9
大学入学共通テスト 利用選抜	3	2	5	2	2	4	1	0	1
社会人選抜 I 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会人選抜 II 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定校推薦選抜	13	0	13	13	0	13	13	0	13
計	547	210	757	530	204	734	144	0	144

作業療法学科	志願者数			受験者数			合格者		
	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計
総合型選抜 前期	26	23	49	26	23	49	16	0	16
総合型選抜 後期 【学力重視型】A日程	25	76	101	24	73	97	13	5	18
総合型選抜 後期 【学力重視型】B日程	22	76	98	21	72	93	9	4	13
一般選抜前期 A日程 3科目型	3	17	20	3	17	20	3	4	7
一般選抜前期 A日程 2科目型	5	14	19	5	14	19	5	5	10
一般選抜前期 B日程 3科目型	1	8	9	1	8	9	1	5	6
一般選抜前期 B日程 2科目型	1	8	9	1	6	7	1	2	3
一般選抜 中期	1	18	19	1	18	19	1	12	13
一般選抜 後期	0	9	9	0	8	8	0	4	4
大学入学共通テスト 利用選抜	0	1	1	0	1	1	0	0	0
社会人選抜 I 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会人選抜 II 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定校推薦選抜	3	0	3	3	0	3	3	0	3
計	87	250	337	85	240	325	52	41	93

臨床検査学科	志願者数			受験者数			合格者		
	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計
総合型選抜 前期	36	23	59	36	23	59	19	4	23
総合型選抜 後期 【学力重視型】A日程	64	78	142	60	74	134	24	0	24
総合型選抜 後期 【学力重視型】B日程	61	78	139	58	72	130	22	0	22
一般選抜前期 A日程 3科目型	33	24	57	32	24	56	26	0	26
一般選抜前期 A日程 2科目型	38	13	51	37	13	50	24	0	24
一般選抜前期 B日程 3科目型	14	13	27	12	13	25	9	0	9
一般選抜前期 B日程 2科目型	19	10	29	17	9	26	11	0	11
一般選抜 中期	11	30	41	11	30	41	5	2	7
一般選抜 後期	8	22	30	8	20	28	6	6	12
大学入学共通テスト 利用選抜	0	1	1	0	1	1	0	0	0
社会人選抜 I 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会人選抜 II 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定校推薦選抜	4	0	4	4	0	4	4	0	4
計	288	292	580	275	279	554	150	12	162



臨床工学科	志願者数			受験者数			合格者		
	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計
総合型選抜 前期	43	41	84	42	41	83	22	8	30
総合型選抜 後期 【学力重視型】A日程	47	81	128	46	73	119	21	5	26
総合型選抜 後期 【学力重視型】B日程	44	75	119	43	67	110	21	5	26
一般選抜前期 A日程 3科目型	16	21	37	16	20	36	14	3	17
一般選抜前期 A日程 2科目型	22	10	32	22	10	32	15	2	17
一般選抜前期 B日程 3科目型	9	13	22	9	13	22	7	3	10
一般選抜前期 B日程 2科目型	12	11	23	12	11	23	8	1	9
一般選抜 中期	7	26	33	7	26	33	3	0	3
一般選抜 後期	5	26	31	4	24	28	1	2	3
大学入学共通テスト 利用選抜	0	2	2	0	2	2	0	0	0
社会人選抜 I 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会人選抜 II 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定校推薦選抜	4	0	4	4	0	4	4	0	4
計	209	306	515	205	287	492	116	29	145

診療放射線学科	志願者数			受験者数			合格者		
	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計
総合型選抜 前期	138	28	166	138	28	166	14	0	14
総合型選抜 後期 【学力重視型】A日程	198	56	254	184	53	237	32	0	32
総合型選抜 後期 【学力重視型】B日程	178	55	233	161	52	213	27	0	27
一般選抜前期 A日程 3科目型	54	15	69	53	15	68	18	0	18
一般選抜前期 A日程 2科目型	78	10	88	77	10	87	29	0	29
一般選抜前期 B日程 3科目型	35	11	46	32	10	42	19	0	19
一般選抜前期 B日程 2科目型	60	3	63	55	3	58	20	0	20
一般選抜 中期	57	8	65	57	8	65	4	0	4
一般選抜 後期	37	6	43	36	6	42	2	0	2
大学入学共通テスト 利用選抜	5	0	5	5	0	5	2	0	2
社会人選抜 I 期	1	0	1	1	0	1	0	0	0
社会人選抜 II 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定校推薦選抜	5	0	5	5	0	5	5	0	5
計	846	192	1038	804	185	989	172	0	172

鍼灸学科	志願者数			受験者数			合格者		
	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計	第1	第2・3	計
総合型選抜 前期	21	19	40	21	19	40	17	7	24
総合型選抜 前期 【スポーツ実績評価型】	4	0	4	4	0	4	4	0	4
総合型選抜 後期 【学力重視型】A日程	9	31	40	9	30	39	8	8	16
総合型選抜 後期 【学力重視型】B日程	10	28	38	9	27	36	8	9	17
一般選抜前期 A日程 3科目型	3	11	14	3	11	14	3	3	6
一般選抜前期 A日程 2科目型	4	8	12	4	8	12	4	1	5
一般選抜前期 B日程 3科目型	1	1	2	1	1	2	1	1	2
一般選抜前期 B日程 2科目型	3	1	4	3	1	4	2	0	2
一般選抜 中期	1	11	12	1	11	12	1	8	9
一般選抜 後期	1	2	3	1	2	3	1	1	2
大学入学共通テスト 利用選抜	1	1	2	1	1	2	0	1	1
社会人選抜 I 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会人選抜 II 期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定校推薦選抜	19	0	19	19	0	19	19	0	19
計	77	113	190	76	111	187	68	39	107

### ③2021 年度 大学院入学試験受験者数

保健医療学専攻	志願者数	受験者数	合格者	入学者
第1次募集	1	1	1	1
第2次募集	6	6	5	5
第3次募集	2	2	2	2
計	9	9	8	8

看護学専攻	志願者数	受験者数	合格者	入学者
第1次募集	2	2	2	2
第2次募集	1	1	1	1
第3次募集	0	0	0	0
計	3	3	3	3

医療科学専攻	志願者数	受験者数	合格者	入学者
第1次募集	1	1	1	1
第2次募集	2	2	2	2
計	3	3	3	3

#### ④2021 年度 助産学専攻科入学試験受験者数

助産学専攻科	志願者数	受験者数	合格者	入学者
一般入試Ⅰ	10	10	4	4
推薦入試	1	1	1	1
学内推薦入試	6	6	6	6
一般入試Ⅱ	－	－	－	－
計	17	17	11	11

※一般入試Ⅱについては定員に達したため、実施せず。

#### ⑤国家試験合格率

##### ■看護師 第110回

全体	受験者数：66,124人	合格者数：59,769人	合格率：90.4%
新卒	受験者数：59,593人	合格者数：56,868人	合格率：95.4%
本学新卒	受験者数：76人	合格者数：76人	合格率：100%

##### ■保健師 第107回

全体	受験者数：7,834人	合格者数：7,387人	合格率：94.3%
新卒	受験者数：7,281人	合格者数：7,094人	合格率：97.4%
本学新卒	受験者数：6人	合格者数：6人	合格率：100%

##### ■助産師 第104回

全体	受験者数：2,108人	合格者数：2,100人	合格率：99.6%
新卒	受験者数：2,097人	合格者数：2,091人	合格率：99.7%
本学新卒	受験者数：6人	合格者数：6人	合格率：100%

##### ■理学療法士 第56回

全体	受験者数：11,946人	合格者数：9,434人	合格率：79.0%
新卒	受験者数：10,522人	合格者数：9,093人	合格率：86.4%
本学新卒	受験者数：60人	合格者数：58人	合格率：96.7%

##### ■作業療法士 第56回

全体	受験者数：5,549人	合格者数：4,510人	合格率：81.3%
新卒	受験者数：4,895人	合格者数：4,345人	合格率：88.8%
本学新卒	受験者数：37人	合格者数：37人	合格率：100%

##### ■臨床検査技師 第67回

全体	受験者数：5,115人	合格者数：4,101人	合格率：80.2%
新卒	受験者数：3,947人	合格者数：3,614人	合格率：91.6%
本学新卒	受験者数：54人	合格者数：45人	合格率：83.3%

##### ■はり師 第29回

全体	受験者数：3,853人	合格者数：2,698人	合格率：70.0%
新卒	受験者数：2,914人	合格者数：2,558人	合格率：87.8%
本学新卒	受験者数：49人	合格者数：46人	合格率：93.9%

##### ■きゅう師 第29回

全体	受験者数：3,797人	合格者数：2,740人	合格率：72.2%
新卒	受験者数：2,914人	合格者数：2,597人	合格率：89.1%
本学新卒	受験者数：49人	合格者数：46人	合格率：93.9%
本学新卒	受験者数：48人	合格者数：42人	合格率：87.5%

## ⑥職種別求人件数

本学宛に送付されてきた求人職種別件数は以下のとおりである。看護師、保健師、助産師、理学療法士、はり師、きゅう師、中高保健体育教員等に加えて、作業療法士、臨床検査技師、診療放射線技師や大学生卒業者を対象とする事務職、営業・販売職など多彩な求人情報が本学に寄せられた。

職種	件数
看護師	683
保健師	107
助産師	102
理学療法士	1068
作業療法士	1044
臨床検査技師	285
臨床工学技士	138
診療放射線技師	85
はり・きゅう師	372
その他医療従事者	999
福祉関係(介護職)	1078
教員	206
事務職	4053
営業職	3452
その他	6155
総計	19006

## ＜有効求人倍率について＞

本学に寄せられた各学科への求人数を求職者数より算出した学科別の求人倍率は、全国の大学卒業予定者向けの平均求人倍率を大きく上回る結果となった。

※参考数値 2020 年度大学卒業予定者の求人倍率全国平均 1.83 倍（リクルートワークス社調べ）

	看護学科	理学療法学科	作業療法学科	臨床検査学科	鍼灸学科
求人件数（件）	587	904	843	248	345
求職者数（人数）	82	62	40	69	66
求人倍率（倍）	7.16	14.58	21.08	3.59	5.23

## ⑦学修支援センター主催事業

ステップアップ講座（リメディアル科目）：参加者総数 1648 名

### ・看護学科

実施方法：対面

実施回数：1 回

参加者総数-20 名

### ・理学療法学科

実施方法：対面、オンライン

実施回数：対面 4 回、オンライン 24 回

参加者総数-120 名

### ・作業療法学科

実施方法：対面、オンライン

実施回数：対面 15 回、オンライン 10 回

参加者総数-1276 名

- ・臨床工学科

実施方法：対面、オンライン

実施回数：対面 38 回、オンライン 25 回

参加者総数-232 名

センターアシスタント事業

- ・鍼灸学科

実施回数：97 回

参加者総数-352 名

- ・臨床検査学科

実施回数：23 回

参加者数-65 名

## ⑧研究業績

< 英文 >

理学療法学科

- ・ Kawamura H, et al. Ability to categorize end-feel joint movement according to years of clinical experience: an experiment with an end-feel simulator. *The Journal of Physical Therapy Science*. 2020; 32: 297-302.
- ・ Tanaka K, Kudo S. Functional assessment of the spring ligament using ultrasonography in the Japanese population. *Foot (Edinb)*. 2020 Sep; 44: 101665.
- ・ Kudo S, Sakamoto K, Shirakawa T. Comparison of foot kinematics and the morphology of intrinsic musculature of the foot using a foot-type classification based on function. *J Phys Ther Sci*. 2020 Mar; 32(3): 238-242.
- ・ Kudo S, Sato T, Miyashita T. Effect of plyometric training on the fascicle length of the gastrocnemius medialis muscle. *J Phys Ther Sci*. 2020 Apr; 32(4): 277-280.
- ・ Kobayashi T, Takabayashi T, Kudo S, Edama M. The prevalence of chronic ankle instability and its relationship to foot arch characteristics in female collegiate athletes. *Phys Ther Sport*. 2020 Nov; 46: 162-168.
- ・ Kawanishi K, Kudo S. Quantitative analysis of gliding between subcutaneous tissue and the vastus lateralis - Influence of the dense connective tissue of the myofascia. *J Bodyw Mov Ther*. 2020 Oct; 24(4): 316-320.
- ・ Shiraishi M, Higashimoto Y, Sugiya R, Mizusawa H, Takeda Y, Fujita S, Nishiyama O, Kudo S, Kimura T, Chiba Y, Fukuda K, Tohda Y. Diaphragmatic excursion correlates with exercise capacity and dynamic hyperinflation in COPD patients. *ERJ Open Res*. 2020 Dec 21; 6(4): 00589-2020.
- ・ Noda I, Kudo S. Relationship between pain, elbow valgus instability, and the function of flexor pronator muscles in baseball players. *JSES Int*. 2020 Oct 31; 5(1): 31-34.

作業療法学科

- ・ Tanaka H, Nagata Y, Ishimaru D, Ogawa Y, Fukuhara K, Nishikawa T. Clinical factors associated with activities of daily living and their decline in patients with severe dementia. *Psychogeriatrics*. 2020 May; 20(3): 327-336.
- ・ Ishimaru D, Tanaka H, Nagata Y, Ogawa Y, Fukuhara K, Takabatake S, Nishikawa T. Impact of Disturbed Rest-activity Rhythms on Activities of Daily Living in Moderate and Severe Dementia Patients. *Alzheimer Disease and Associated Disorders*. 2020 Dec; doi: 10.1097/WAD.0000000000000423. Epub ahead of print.

- Nakaoka K, Takabatake S, Tateyama K, Kurasawa S, Tanba H, Ishii R, Higashi Y, Kaneda T. Structural validity of the mealtime behaviour questionnaire for children with autism spectrum disorder in Japan. *J Phys Ther Sci*. 2020 May; 32(5): 352-358.

#### 臨床検査学科

- Tanaka S, Yasuda T, Hamada Y, Kawaguchi N, Fujishita Y, Mori S, Yokoyama Y, Yamamoto H, Kogo M. Synthetic peptide SVVYGLR upregulates cell motility and facilitates oral mucosal wound healing. *Peptides*. 2020 Dec; 134: 170-405.

#### 臨床工学科

- Ijiri T, Tsuruoka S, Kamoshita H, Hirabayashi A, Inada S, Shiraishi I, Kurosaki K, Nakazawa K. Spatially Controllable Region Growing for Segmenting Heart Chambers. *Adv Biomed Eng*. 2020 Sep; 9: 172-180. doi:10.14326/abe.9.172.
- Shibata N, Inada S, Nakazawa K, Tomii N, Yamazaki M, Seno H, Honjo H, Sakuma H. Mechanism of Electrical Defibrillation: Current States and Future Perspective. *Adv Biomed Eng*. 2020 Jul; 9: 125-137. doi:10.14326/abe.9.125.
- Tomii N, Yamazaki M, Ashihara T, Nakazawa K, Shibata N, Honjo H, Sakuma I. Spatial Phase Discontinuity at the Center of Moving Cardiac Spiral Waves, *Comput Biol Med*. 2021 Mar; 130: 104217.
- Kokubun H, Miyauchi Y, Inada S, Shimizu W. Underdetection of ventricular fibrillation by wearable cardioverter-defibrillator leading to sudden death. *Circ J*. 2020 Dec; 85(1): 79.
- Kano H, Yotsuida H, Araki Y, et al. Literature introduction by the major vessel committee and summary of extracorporeal circulation in aortic surgery –What I want to keep in aortic surgery now-. *Jpn Extra-Corporeal Technology*. 2020; 47(1): 1-7.
- Kano H, Okamoto K, Tobe S, et al. Temporally Venovenous extracorporeal membrane oxygenator after weaning of cardiopulmonary bypass enables heart valve surgery with right minithoracotomy in a patient after left pneumonectomy. *Jpn Extra-Corporeal Technology*. 2020; 47(2): 148-151.
- Tsuji Y, Suzuki N, Hitomi Y, Mizuno-Matsumoto Y, Tokoro T, Nishimura M. Association Between the Distributions of Mean Corpuscular Hemoglobin and Red Blood Cell, and Mortality in Cohort of Hemodialysis Patients: A 3- Year Retrospective Observational Study. *IJBECS*. 2020; 6(2): 41-47.
- Tsuji Y, Suzuki N, Hitomi Y, Mizuno-Matsumoto Y, Tokoro T, Nishimura M. Association of Depressive Symptoms with Iron Management in Patients on Maintenance Hemodialysis: A Cross-sectional Study. *IJBECS*. 2020; 6(2): 48-54.
- Fueda Y, Kotera H. Development of a Leukocyte Removal Filter for Hepatitis C Therapy and the Possibility of Multipurpose Treatment. *International Journal of Biomedical Science and Engineering*. 2021 Jan; 9(1): 11-15.
- Fueda Y, Matsuda F, Kataoka T. Assessment of noninvasive positive pressure ventilation in healthy young volunteers using salivary stress biomarkers. *Future Sci OA*. 2020 Feb; 6(4): FSO460.
- Shida S, Masuzawa T, Osa M. Dynamic motion analysis of impeller for the development of real-time flow rate estimations of a ventricular assist device. *Int J Artif Org*, 2020 Dec; Online First Publication. doi:10.1177/0391398820984485.
- Shida S, Masuzawa T, Osa M. Effects of gravity on flow rate estimations of a centrifugal blood pump using the eccentric position of a levitated impeller. *Int J Artif Org*. 2020 May; 43(12): 774-781.
- Yamamoto T, Miyoshi H, Kakizaki F, Maekawa H, Yamaura T, Morimoto T, Katayama T, Kawada K, Sakai Y, Taketo M. Chemosensitivity of Patient-Derived Cancer Stem Cells Identifies Colorectal Cancer Patients with Potential Benefit from FGFR Inhibitor Therapy. *Cancers*. 2020 July; doi:10.3390/cancers12082010.

- Yamauchi A, Kou T, Kishimoto T, Mori Y, Osawa K, Iimori K, Iwano K, Yuya Y, Sawada K, Hamada K, Nishimura S, Mori Y, Watanabe K, Azuma S, Morita T, Kurita A, Kawaguchi K, Suginoshta Y, Katayama T, Yazumi S. Risk factor analysis for early rebleeding after endoscopic treatment for colonic diverticular bleeding with stigmata of recent hemorrhage. JGH Open. 2021 Mar; doi:10.1002/jgh3.12535.

#### 診療放射線学科

- Ote K, Hashimoto F, Kakimoto A, Isobe T, Inubushi T, Ota R, Tokui A, Saito A, Moriya T, Omura T, Yoshikawa E, Teramoto A, Ouchi Y. Kinetics-Induced Block Matching and 5-D Transform Domain Filtering for Dynamic PET Image Denoising. IEEE Transactions on Radiation and Plasma Medical Sciences. 2020 Nov; 4(6): 720-728.
- Hashimoto F, Ohba H, Ote K, Kakimoto A, Tsukada H, Ouchi Y. 4D deep image prior: dynamic PET image denoising using an unsupervised four-dimensional branch convolutional neural network. Physics in Medicine & Biology. 2021 Jan; 66(1): 015006. doi: 10.1088/1361-6560/abcd1a.
- Inubushi T, Ito M, Mori Y, Futatsubashi M, Sato K, Ito S, Yokokura M, Shinke T, Kamenno Y, Kakimoto A, Kanno T, Okada H, Ouchi Y, Yoshikawa E. Neural correlates of head restraint: Unsolicited neuronal activation and dopamine release. NeuroImage. 2021 Jan; 224: 117434.
- Tanki N, Katsuda T, Gotanda R, Gotanda T, Imai S, Kawaji Y, Noguchi A, Kuwano T, Fujita H, Takeda Y. The Concept of X-Ray CT Dose Evaluation Method Using Radiochromic Film and Film-Folding Phantom. Radiation Protection Dosimetry, 2021 Jan; 193(2): 96–104.
- Tamura M, Monzen M, Matsumoto K, Otsuka M, Nishimura Y, Okumura M. Design of commissioning process for Halcyon™ linac with a new rigid board:clinical experience. Physica Medica 2020; 77: 121-126.

#### 鍼灸学科

- Nobue A, Kunimasa Y, Tsuneishi H, Sano K, Oda H, Ishikawa M. Limb-Specific Features and Asymmetry of Nerve Conduction Velocity and Nerve Trunk Size in Human. Front Physiol. 2020; 11: 609006. doi: 10.3389/fphys.2020.609006.
- Takahashi H, Nabeta T, Waki H, Takeoka T, Kwahata H, Ideguchi N, Aoki M, Ogihara T. Effect of Electroacupuncture on Stress-induced High Blood Pressure via Autonomic Nervous System in Normotensive Young Adults. Acupuncture & Electrophysiology Research. 2020; 45(2-4): 59-71.

#### <和文>

#### 看護学科

- 小西由起子, 脇坂豊美, 岡本朋子, 田畑愛実, 板垣紀子, 山居輝美, 前川幸子. 看護学生の自己教育力と看護技術演習におけるポートフォリオの記述内容の深まりの関係. 甲南女子大学研究紀要II. 2021; 15: 19-26.
- 川添英利子, 森一彦. 食事認知に伴う唾液分泌測定の有用性の検証 —高齢者と若者を対象に—. 日本看護科学学会誌. 2020; 40: 396-402.
- 松田智子. 絵本から学ぶグリーフケア—傾聴と寄り添いを通して悲嘆を共有する—. 日本人間教育学会紀要. 2020; 7: 81-86.
- 岩佐由美. ヤール重症度で見た在宅パーキンソン病患者の日常生活介助・医療処置と訪問看護利用の現状 看護の標準化に向けて. 日本看護福祉学会誌. 2021; 26(2): 171-176.
- 岩佐由美. パーキンソン病患者の外出活動と外出時に困ることの分析 心身機能の維持と社会参加に向けて. 難病と在宅ケア. 2020; 25(6): 52-56.

#### 理学療法学科

- ・横井賀津志, 大巻悦子, 外村昌子, 中村めぐみ, 三木屋良輔. 都市型大規模集合住宅に居住する者の地域活動参加と住環境の関係. 人間環境学研究. 2020; 18(2): 149-154.
- ・兼岩淳平, 工藤慎太郎, 片山尚哉, 福本祐介, 平田正純, 林英俊. 超音波画像診断装置を用いた retrocalcaneal wedge part 移動量の検者内・検者間信頼性と動態の検討. 日本整形外科超音波学会会誌. 2020; 31: 148-151.
- ・青柳努, 工藤慎太郎, 小林久文, 兼岩淳平, 平田正純, 林英俊. 超音波診断装置を用いた慢性足関節不安定症例と Coper 例の距骨下関節開大量の比較検討. 日本整形外科超音波学会会誌. 2020; 31: 142-147.
- ・小尾尚貴, 工藤慎太郎, 田中謙次, 兼岩淳平, 平川佳祐, 平田正純. 底側踵舟靱帯の形態的变化に対する超音波画像と磁気共鳴画像の比較. 日本整形外科超音波学会会誌. 2020; 31: 118-121.
- ・福本祐介, 片山尚哉, 谷掛洋平, 角田晃啓, 工藤慎太郎. 変形性膝関節症患者における下行膝動脈の特徴. 日本整形外科超音波学会会誌. 2020; 31: 100-105.
- ・河西謙吾, 工藤慎太郎, 林英俊. 大腿骨転子部骨折の術後症例における組織間の滑走性と結合組織厚・大腿外側部痛との関係. 日本整形外科超音波学会会誌. 2020; 31: 94-99.
- ・野田逸誓, 工藤慎太郎, 林英俊. 超音波検査装置を用いた野球選手における肘内側部痛と前腕屈曲回内筋群・尺骨神経との関連性. 日本整形外科超音波学会会誌. 2020; 31: 58-63.
- ・田中謙次, 工藤慎太郎, 竜江哲培. 底側踵舟靱帯厚の計測方法の信頼性の検討. 日本整形外科超音波学会会誌. 2020; 31: 44-49.
- ・工藤慎太郎, 河西謙吾, 林英俊. ランダム化比較試験による大腿直筋周囲の筋膜に対するエコーガイド下徒手療法 of 即時効果の検証. 日本整形外科超音波学会会誌. 2020; 31: 36-43.
- ・北村清一郎. 安全な歯科治療のための臨床解剖学. 歯産学誌. 2020; 34(2): 3-10.
- ・林真太郎. 自己意識に着目した患者教育の在り方について—認知神経科学および内面性と主体性を育む人間教育の視点から—. 人間教育学研究. 2021; 7: 65-70.

#### 作業療法学科

- ・渡辺潤, 松下太, 横井賀津志. 通所リハビリテーション利用者における作業の領域で捉えた買い物と主観的健康感との関連性. 保健医療学雑誌. 2020 Oct; 11(2): 128-135.
- ・東泰弘. 脳卒中患者におけるトイレ動作の評価法について. BIO Clinica. 2020; 35(14): 40-43.
- ・兼田敏克, 高畑進一, 東泰弘, 堀島優花, 染井佑太. 介護者が使用可能な ADL 評価尺度の信頼性と妥当性の検討—Self Assessment Burden Scale-Motor—. Journal of Rehabilitation and Health Sciences. 2020; 16: 1-5.
- ・藤重仁子, 安井渚, 久木元由紀子, 中村めぐみ, 前田薫, 五十嵐淳介. インフォームド・コンセントの歴史と近年の課題. 森ノ宮医療大学紀要. 2020; 14: 1-16.

#### 臨床工学科

- ・人見泰正, 鈴木尚紀, 辻義弘, 松井博志, 小西昂博, 高田博弥, 延命寺俊哉, 佐藤暢. 狭窄病変手前の分枝血管が上腕動脈血流量(FV)と抵抗係数値(RI)の病変検出能力に及ぼす影響. 日本透析医学会雑誌. 2020; 53(7): 393-399.
- ・馬淵誠士, 志村宏太郎, 松本有里, 梅本雅彦, 北田文則, 木村正, 藤江建朗, 中村英夫. ロボット支援下広汎子宮全摘術が執刀医に与えるストレス・疲労の検討 開腹手術・腹腔鏡手術との比較. 臨床婦人科産科. 2021 Mar; 75(2): 281-288.

#### 診療放射線学科

- ・松本賢治, 大塚正和, 田村命, 門前一, 奥村雅彦. 高速回転 O リングリニアックと汎用リニアックにおける VMAT 治療計画の比較. 日放技術会誌. 2020 Apr; 76 (4): 339-345.



- ・荻野待子, 山田千春, 平岡玲子, 網島ひづる, 竹田千佐子, 大西英雄. 膀胱留置カテーテル技術実施における熟練看護師の視線運動と行動の現状. 日本看護学教育学会. 2020; 30(1): 57-68.

#### 鍼灸学科

- ・藤村佳奈, 吉村春生, 赤羽理紗, 山下仁. 擦過鍼を用いた認知症高齢者ケアの臨床的意義に関する評価概念の抽出: 施術観察・介護記録・介護者インタビューに基づく質的アプローチ. 日本統合医療学会誌. 2020; 13(1), 24-33.
- ・山下仁. 満蒙開拓青少年義勇軍内原訓練所の灸療所「一気寮」に関する調査報告. 日本東洋医学雑誌. 2020; 71(3), 251-261.
- ・兒玉友, 久野峻幸, 佐野加奈絵, 石川昌紀, 小田俊明. 日本代表候補パラバドミントン立位クラス男子選手の形態特性: 日本代表候補バドミントン男子選手および健康成人男性との比較. アダプテッド・スポーツ科学. 2020; 18: 3-11.
- ・阿部秀高. 医療専門職との連携によるインクルーシブ教育実践カリキュラム構想. 人間教育学研究. 2021; 7: 1-10.
- ・松熊秀明, 大月隆史, 堀川奈央, 鍋田理恵, 鍋田智之. 健康成人に対する四肢への灸刺激が深部温度、自律神経活動および入眠に与える影響. 森ノ宮医療大学紀要. 2020; 14: 17-26.
- ・玉木奈美, 久下浩史, 辻涼太. 顔面部に対するエステティック鍼灸併用施術と鍼灸単独施術の比較. 全日本鍼灸学会雑誌. 2020; 70(3): 242-249.
- ・池上典子, 久下浩史, 辻涼太, 尾崎朋文. 下肢部のむくみに対する円皮鍼と圧迫施術の比較. 全日本鍼灸学会雑誌. 2021; 71(1): 13-20.
- ・中村真理, 福本妙子, 尾崎朋文, 粕谷大智, 坂口俊二. 末梢顔面神経麻痺完全脱神経型に対する鍼灸治療の効果—発症 1 年以内、14 名に検討—. FACIAL NERVE RESEARCH JAPAN. 2020; 40: 205-208.

#### ⑧競争的研究資金獲得状況 (文部科学省科学研究費助成事業-科研費-)

##### <新規>

- ・基盤研究(C) 増山 祥子「がん緩和ケアとしての鍼の応用可能性: 歴史的対照群との比較およびナラティブの評価」
- ・基盤研究(C) 山下 仁「非薬物療法の効果量推定を阻害する対照群の異質性に関するシステマティック・レビュー」
- ・基盤研究(C) 小西 由起子「再就職看護師の組織社会化に関する研究」
- ・基盤研究(C) 久木元 由紀子「医療系学生に対する終末期ケア多職種連携教育プログラム開発と効果」
- ・基盤研究(C) 徳島 佐由美「重症心身障害児のリロケーションを支援する在宅レスパイトプログラムの開発と検証」
- ・基盤研究(C) 稲田 慎「多階層 3 次元心臓モデルを用いた不整脈誘発性・持続性の評価に関するインシリコ研究」
- ・若手研究 東 泰弘「高次脳機能障害患者のトイレ動作尺度の開発とトイレ動作に影響を与える因子の解明」
- ・若手研究 小川 泰弘「統合失調症における病識の背景要因の解明および要因に基づく新しい治療戦略の構築」
- ・若手研究 中西 一「パーキンソン病患者の食事、歯磨き時の視線分析～動作が行いやすい視覚環境の提案～」
- ・若手研究 林 真太郎「高齢者の転倒予防自己効力感と身体能力の自己認識からみるリハ介入の工夫」
- ・若手研究 信江 彩加「ヒト全身反応時間を決定する中枢・末梢神経系の可塑性の解明」

- ・若手研究 木内 隆裕「片側上肢の運動がもたらす反対側上肢への運動プライミング」
- ・研究活動スタート支援 信太 宗也「心不全リスク定量評価に向けた補助人工心臓圧流量推定に基づく動脈硬化検査法の開発」
- ・研究活動スタート支援 山畑 飛鳥「VRを用いた診療放射線技師養成教育におけるロールプレイ学習に関する検証」

<継続>

- ・基盤研究 (C) 阿部 秀高「医療専門職との連携によるインクルーシブ教育実践カリキュラム構想に関する研究」
- ・基盤研究 (C) 仲村 正子「超音波診断装置を用いた教材開発」
- ・基盤研究 (C) 川畑 浩久「廃用性関節拘縮における RA 系の役割：高齢者 ADL 維持への新戦略」
- ・基盤研究 (C) 齋藤 雅子「JNCAST を基に開発した「不妊治療後母子相互作用促進プログラム」の有用性検証」
- ・基盤研究 (C) 白井 文恵「在宅における気管内吸引カテーテルの再使用と呼吸器感染症発生との関連の細菌学的検証」
- ・基盤研究 (C) 佐野 加奈絵「超スマート社会実現に向けた高齢者の骨格筋調整メカニクスの解明」
- ・基盤研究 (C) 中原 英博「最新トレーニング理論に基づく革新的運動プログラムのアスリートへの応用」
- ・基盤研究 (C) 森 誠司「癌の浸潤転移における FGF 受容体とインテグリンのクロスシグナリング」
- ・基盤研究 (C) 山下 仁「代替医療の臨床研究論文の質：システマティック・レビュー変法による評価」 (延長)
- ・基盤研究 (C) 伊津美 孝子「医療ビッグデータ時代における看護の「見える化」推進 eラーニングシステムの開発」 (延長)
- ・若手研究 澤田 優子「ハイリスク出生コホートに基づく当事者主体の発達支援プログラムの開発評価」
- ・若手研究 工藤 慎太郎「ランニング障害を引き起こす足部 type の解明・足部機能に基づく足部分類の開発」
- ・若手研究 (B) 関口 敏彰「地域在住高齢者の健康寿命延伸に資する腎機能保持を考慮した栄養摂取量の検討」 (延長)
- ・研究活動スタート支援 辻 義弘「自律神経機能安定化による血液透析患者の身体的な機能改善および QOL の向上」 (延長)

⑨人権問題啓発活動 (人権問題委員会主管)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、人権問題委員会研修会は未実施。

⑩令和 2 年度連携協定

令和 2 年 9 月 7 日	独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪みなと中央病院 … 相互連携
令和 2 年 10 月 5 日	社会医療法人 愛仁会 … 相互連携
令和 2 年 11 月 30 日	イカリソース株式会社 … 相互連携
令和 2 年 12 月 21 日	独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院 … 相互連携
令和 3 年 2 月 1 日	チュニスエルマナール大学 … 相互連携

⑪社会貢献事業座

・市民公開講座

[年 3 回を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、1 回のみ実施]

10 月 25 日（日） 13：30～15：30 【事前申込制】	フレイル予防で 健康長寿	基調講演	フレイル予防で健康長寿	参加 人数
		講演Ⅰ	フレイルとリハビリテーション	89 人
		講演Ⅱ	フレイルと看護	
		講演Ⅲ	高齢者と薬～「くすり」と 正しく付き合っていますか～	

### 3. 森ノ宮医療学園専門学校

#### (1) 実施事業の概要

2023 年度までの 5 ヶ年計画である第 2 期中期経営計画の基本目標として「関西圏トップの実現」を掲げ、初年度となる 2020 年度については、以下の事業を展開した。

#### 1) 教育事業の概要

##### ① 在学生および卒業生への教育活動およびサポート活動

###### 【鍼灸学科】

- ・例年は、新入生に入学前から課していた課題について入学後すぐにチェックテストを実施していたが新型コロナウイルスにより緊急事態宣言のため対面授業が 6 月からスタートとなったため 6 月の授業開始時に実施した。そのため例年と同じ状態での分析を行うことができなかった。
- ・ゼミについては対面での実施ができなかったため後期より、学習関連ゼミを動画配信にて行った。その結果、今までのゼミでは授業後に学内に残れない学生が、自宅や通学時間帯を利用して学習できるようになったため国家試験合格につながった。
- ・本校に関する教育として、新入生に対して校長によるオリエンテーションを実施し、本校の伝統や教育に対する方針を伝えるとともに本校に対する愛着を持ってもらえるようにしているが、2020 年度は入学式も実施することができなかったため実施できなかった。
- ・学生の学習に対する悩みなどを早期に把握するために全学生に対し、年に 3 回以上の面談を実施しているが、学内滞在時間を短くするため 3 回は実施できなかった。前期の緊急事態宣言中に、全学生に電話による面談を行った。
- ・1 年次より定期的、計画的に診断テストや模擬試験を実施することにより、早期に現状の把握を行っている。これにより、学習状況に問題のあると思われる学生に対してきめ細やかな対策を立てることができ、個々の学生はもちろん、全体的な成績の向上がみられた。
- ・1 年次からの定期テスト等の各種試験や面談の結果などを一覧で確認することができ、学生カルテを作成し、2021 年度以降の指導に活用していく。
- ・従来から行っている鍼灸受療体験も引き続き継続している。また入学前に鍼灸を経験することにより職業理解を深めるためにみどりの風鍼灸院での入学決定者を対象に入学前受療体験を実施している。
- ・2019 年度から各学期の定期試験終了後に各期の授業内容を振り返るための期間を設けることとした。特に定期試験で躓いてしまった内容をきちんと復習する機会となっており、その後の年次進行に伴う理解不足の増大を解消することができている。しかし、本試験後に実施するため、その内容を聞いて本試験に真面目に取り組まずに追試験で合格すれば良いという考えを持つ学生が一部にみられた。そのため振り返りについての位置づけについて今後検討していく必要があると考えられた。
- ・2018 年度入学生より各期における定期試験不合格から未修得単位に至る過程を大きく改善し、これまでは定期試験後の追試験不合格で未修得単位としていたものを、追試験不合格後に補講を挟んで追々試験を行うこととした。それでもなお不合格の場合は年度末に実施される未修得単位試験に合格できなかった場合のみ留年となることとした。一見試験が増えることとなり学生の負担が増える様には見えるが、実際はそうではなく、むしろ理解不足を解消するよい機会となっており、学修内容を理解したうえで進級できるようになっている。2020 年度においては 1 年生での 4 名の留年者が発生したが、多くの学生は複数の試験を重ねることで成績不振者の学修進度もこれまで以上に把握することができるようになっている。

### 【柔道整復学科】

- ・例年、救急救命法を習得するために日本 ACLS 認定資格取得講座を開催していたが新型コロナウイルス感染拡大のため実施できなかった。
- ・3 年生アドバンスコースにおいてアメリカ研修を開催していたが、新型コロナウイルスの影響により実施できなかったため、返金することとなった。TEXAS A&M 大学 commerce 校にてスポーツ現場での外傷評価や処置だけでなく、医療現場との関わり方、コミュニケーション能力などについて学習した。学生の大きな成長も実感する事ができた。
- ・附属クリニックにおける臨床実習および症例検討会を開催していたが、新型コロナウイルスの影響により、クリニック実習が実施できなかった。
- ・例年実施している夏季特別講座は動画配信にて対応した。1 年次は身体の基本を知る解剖学・生理学の復習、2 年次は医療面接・評価について、3 年生は関係法規・実技について実施した。
- ・欠席者への早期連絡、成績不振者の早期面談・指導を実施し、出来るだけ早い段階で当該学生に対してフォローを行うようにした。
- ・中期以降に各学年の成績不振者を対象に解剖学・生理学・柔道整復総論などのゼミを開催した。これにより基礎学力が身に付き、学習方法の習得や初年次の躓きが解消できた。
- ・2019 年には卒業生・在校生を対象とした臨床塾を開催していたが、新型コロナウイルスの影響により開催できなかった。
- ・過去の成績データ（学科全体）から、学生個々の成績（現状）を分析するデータを作成し、個別指導に使用した。

## ② 国家試験対策

### 【鍼灸学科】

- ・2017 年度入学生より、入学前課題・入学前課題チェックテスト・各期における診断テスト・模擬試験等を実施し 3 年が経過したが、2019 年度の 3 年生が卒業率・国家試験合格率ともに過去 10 年間で最も高い結果となっていたが、2020 年度は 2019 年度肉レベルと下がったものの過去 10 年に比べると向上している。
- ・1 年次から使用できるオリジナルの国家試験対策ドリルの作成を行い、学生が現在の理解度を確認できるようにした。2019 年度に主要な科目のオリジナルドリルが完成し、2021 年度に冊子として渡せるように加筆・修正を行った。
- ・3 年生の成績不振者を対象とした特別強化授業を実施した。2019 年度 11 月より週 3 回の実施していたが、2020 年度は 8 月より週 3 回実施し国家試験の合格に結び付けることができた。
- ・国家試験不合格者へのサポートとして森ノ宮塾と銘打ったゼミを両学科合同で開講していたが、新型コロナウイルスの影響により実施が困難となったため動画配信を行った。しかし、学校として卒業生の勉強の把握をすることが難しく、既卒者合格者を伸ばすことができなかった。

### 【柔道整復学科】

- ・週 1 回のペースで小テスト問題を提示し、添削後、学生一人一人に間違ってしまった問題について教科書で調べさせうえて解説を作成させ、これを教員がチェックしている。これにより主要 3 科目を中心に理解を深めつつ問題対応能力を身につけ、早い段階で国家試験への意識づけを行うことができた。
- ・外部の模擬試験を 2 回開催した。自校作成の問題だけでなく視点の違う問題を解いていくことで、国家試験合格に向けての幅の広い問題対応力が身に付いた。
- ・2 年生では自分で採点を行い、問題のポイントについてまとめさせる 3 科目模試や日めくりドリルを行った。これにより学習の習慣を身に付けさせ、次年度に迫った国家試験への意識を高めることができた。

- ・国家試験不合格者へのサポートとして森ノ宮塾と銘打ったゼミを両学科合同で開講していたが、新型コロナウイルスの影響により実施が困難となったため動画配信を行った。しかし、学校として卒業生の勉強の把握をすることが難しく、既卒者合格率を伸ばすことができなかった。
- ・質問 BOX と銘打って、メールによる質問を受け付けた。教員とコミュニケーションをとることが苦手な学生に有効であった。また、仕事などの都合で授業後、学校に残れない学生にとっても有効であった。

### ③ 社会貢献

#### 【鍼灸学科】

- ・卒業生を対象とした森ノ宮鍼灸セミナー「臨活（「臨」床に「活」用できるセミナー）」を年 1 回実施した。

#### 【柔道整復学科】

- ・森ノ宮柔道整復学術集会を例年開催していたが新型コロナウイルスにより実施することができなかった。

### ④ 教員研修

#### 【鍼灸学科】

- ・例年、東洋療法学校協会の教員研修会・関西地区の教員研修会に参加していたが、2020 年度は実施されなかった。

#### 【柔道整復学科】

- ・授業などの質を向上させるために、各教員がそれぞれ「研究」「臨床」「トレーナー」などの活動に取り組んでいる。教員の資質向上に加えて、研究結果や実際の症例を授業に盛り込むことで、教科書だけでは学べない幅広い内容の授業が展開できている。

## 2) 事務関係事業

専門学校事務組織においては、昨年度に引き続き業務改善および効率化について各部署で取り組んだ結果、以下の主要事業を行った。

#### 【教務部（12 月より教育支援部に名称変更）】

- ・例年、春季および秋季に開催している「アロマコーディネーター資格取得講座」については、春季は新型コロナ感染症による緊急事態宣言発令の影響により開催を中止とした。秋季は 5 名が受講した。また、森ノ宮医療大学助産学専攻科の必修科目としての開講は例年通り開講した。
- ・NESTA パーソナルトレーナー資格養成講座を開催し、16 名（定員 20 名）が受講した。
- ・例年通り、日本赤十字血液センターの献血活動に協力した。2021 年 2 月 1 日（月）に献血車が来訪。28 名が採血を行った。
- ・例年 3 月下旬に開催される近江杯高校柔道大会の救護活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に続き開催中止となったため、救護活動ならびに柔道整復学科学生の救護活動見学・補助が実施できなかった。
- ・施術所訪問を行った。訪問件数は 17 件で、運営状況や業界の外部環境について有益な情報を得ることができた。
- ・在阪の柔道整復養成校の同窓会組織が合同で活動する大阪柔道整復師養成校合同同窓会（大阪柔整合同同窓会）に参加した。
- ・連携協定を締結している社会体育専門学校の医療特修コースの学生 3 名がダブルスクール入学審査を受け、2021 年 4 月から鍼灸学科夜間コースに 2 名、柔道整復学科夜間コースに 1 名が入学することとなった。

（教育支援部長：葉山）

### 【学務課】

- ・例年4月に附属みどりの風クリニックにて実施していた学生健康診断であるが、2020年度については外部医療機関に出張健康診断を依頼の上、9月25日に実施した。当日に欠席した学生の健康診断は10月末までに行い、最終的な受診率は98.0%であった。
- ・教育訓練給付制度利用者に対し、申請書類の発行を行った。
- ・日本学生支援機構奨学金を始めとする奨学金を利用する学生への支援を行った。
- ・5月からの約2カ月間、「春の就職フェア」として、ご協力いただいた求人先約200院の求人情報を本校舎1階に掲示した。
- ・10月4日に毎年恒例の就職相談会を開催した。参加治療院約40院、卒業生を含む参加学生約45名であった。
- ・卒業後半年を経過した卒業生に郵送にて進路調査を行った。各人の現状を確認する事
- ・就職を希望する学生への就職支援を行った。また、治療院等の就職先からの求人票を受付、学生に公開した。
- ・毎年実施している次年度入学予定者を対象とした入学前通信教育については82名の利用があった。そのうち早期合格者特典として「生物ベーシック」科目を履修した入学予定者は28名であった。
- ・例年行っている授業評価を、学生による授業アンケート、教職員による授業見学、担当教員による授業点検評価を1枚のレポートにまとめる方法にて実施した。また、学生による授業アンケートへの本校からの回答として2019年度授業評価の最終結果を取りまとめた報告書を学生向けに公開した。
- ・文化祭にて、昨年同様にヨーヨー釣りおよび巨大間違い探しを出店した。
- ・2021年3月13日に2021年度入学予定者を対象としたプレスクールを開催した。両学科併せて118名の参加があり、アンケート結果では満足度91.3%であった。
- ・はり師きゅう師国家試験および柔道整復師国家試験の出願のサポートを行った。
- ・2021年度より柔整トレーナーコースを設置するための学則の変更を行い、所轄庁である大阪府に申請を行った。
- ・従来から校内に学生用保育所としてみどりの風保育園を開設しているが、2020年度もお子様とともに通学している学生による多数の利用があった。
- ・学生生活満足度調査を実施し、2020年度卒業生の本校に対する満足度は91.9%であった。
- ・2019年度自己点検・自己評価報告書を作成しWebページにて公表した。また、自己点検・自己評価報告書を基に学校関係者評価を行った。

(学務課長：矢納)

### 【管理課】

- ・7階講堂にレーザープロジェクターを導入した。
- ・アネックス平屋、アネックス3階教官室、はりきゅうミュージアムの空調機を更新した。
- ・本校舎・アネックス校舎の誘導灯のバッテリー及びランプ交換を実施した。
- ・理事長室、校長室、603教室の換気扇を更新した。
- ・図書室、理事長室、一部職員のオフィスチェアを更新した。
- ・2階男子、5階女子、6階男子トイレのシャワートイレの交換工事を行った。
- ・アネックス平屋接骨院の受付・待合ブースに照明を追加した。
- ・校友室の照明器具のLED化を実施した。
- ・101教室前階段の御影石を補修した。
- ・405、505教室の窓の一部を引き違い窓に入れ替えた。
- ・1階エレベーターホール内にサーマルカメラを設置、2階職員室で監視できるよう配線工事を行った。
- ・7階講堂、アネックス4階に無線LANアクセスポイントを設置した。
- ・職員室カウンター、図書室、クリニック受付に飛沫防止カーテンを設置した。
- ・各種消毒剤（エタノール、次亜塩素酸水）、ペーパータオルを欠品することなく確保した。

- ・1, 2 年生の各 HR 教室、実技教室に加湿器を設置した。
- ・防災備蓄食料を追加購入した。
- ・本校舎北館の耐震診断を実施した。
- ・本校舎の外壁調査を実施した。
- ・「大地震発生時マニュアル」および「火災発生時マニュアル」を作成し、全校生に配布した。
- ・大阪市および東成区東中本まちづくり活動協議会と「水害時における指定緊急避難場所としての使用協定」を締結した。
- ・コロナの影響により、従来の東成消防署による立ち会いおよび学生の参加はなかったが、教職員を対象に消防訓練を実施した。
- ・3 階と 5 階の吹き抜けに設置されたモニターを撤去した。
- ・新規の古紙回収業者を開拓し、これまでコストのかかっていた書類・書籍等の回収・廃棄が無料となった。

(管理課長：入江)

#### 【入学広報課】2020 年 4 月に広報課より変更

- ・コロナ禍の中、感染予防対策を講じたうえで以下の校内イベントを実施した。  
オープンキャンパス、学校説明会、AO 入試対策講座、授業見学会、個別相談会など
- ・学生募集ツールとして以下の広報誌を作成した。  
学校案内、入試要項、季刊誌、イベント告知DM、高校生／社会人向けパンフなど
- ・WEB サイト運営として、ページ更新／新規制作、新着情報の発信、動画制作などを行った。
- また、検索サイトで上位表示されるための SEO 対策を常時講じた。
- ・SNS (インスタ、Facebook、Twitter、LINE) から情報の発信を実施した。
- ・リスティングやリターゲティングなどの WEB 広告を展開した。
- ・高校訪問、高校ガイダンス／出張講義 (AED 講習等) を実施した (コロナ禍で減少)。
- ・進学媒体 (進学情報誌、進学サイト) へ広告出稿を行った。
- ・広く本校の認知度向上させるために、以下の対策を講じた。  
ならテレビ／ならドット FM への番組出演、フリー冊子「ここ＋から (PLUS)」発行、Osaka Metro 車内アナウンス広告、新聞広告掲出 など
- ・教務部と協働で、NESTA PFT 認定講座、アロマ講座の広報・運営を行った。

#### ※事業成果データ

- ・資料請求者数 6,586 件 (昨年比 122%)
- ・公式サイト訪問者数 76,874 (昨年比 154%)
- ・イベント来校者数：532 名 (昨年比 93%)
- ・志願者数 174 名 (昨年比 95%)
- ・入学者数 159 名 (昨年比 100%)

(入学広報課：石塚)

#### 【企画グループ】

- ・企画グループとして京都施術所の運営のフォロー (井上・成田)
- ・例年、教務部と協同で進めていた、「近江高校柔道大会救護対応」や「卒業生治療院訪問」等の事業はコロナ禍により中止となった。
- ・継続して実施している古本募金活動については、例年よりも多く収集できたものの、コロナ感染防止の観点から協力会社が古本回収を中止したため募金収入はなかった。

(企画 G：成田)



【学術部】

- ・学術・研究活動に対する支援として前年度実績に基づいて個人学術研究費を適切に配分した。今年度は全体としてはやや低調な利用となった。
- ・今年度の学術活動は新型コロナ感染症拡大により、例年のように研究活動が行うことができず、オンライン開催の学会参加等にとどまった。
- ・倫理委員会の運営においては、2016 年度より研究倫理審査も開始しており、今年度も適切な倫理審査が行われた。

(担当部長：葉山)

【図書室】

- ・図書委員会を 2020 年 9 月 7 日と 2020 年 12 月 21 日に開催し、購入図書を決定したほか、今後の図書室の運営、活動について検討を行った。
- ・図書委員会での決定を受けて新規図書の購入を行った。
- ・図書室会議を月に一度開催し、新規図書購入リストの作成や図書室運営の改善について検討を行い、随時実施した。
- ・校友会から図書購入費として 40 万円の補助を受け、図書購入を行った。
- ・図書室利用者からの図書購入リクエストを随時受け付け、月毎に図書委員会の審査を経て承認された書籍を購入した。また、年度を上半期、下半期に分け、教職員を対象に図書購入リクエストを実施した。
- ・蔵書点検も滞りなく行われた。

(部長：吉川)

## (2) 事業成果の概要

### ① 在籍学生数

(単位：人)

2021 年 4 月 1 日現在		1 年			2 年			3 年			合計		
		在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)
鍼灸学科	昼	80	3	0	75	2	1	58	2	1	213	7	2
	夜	17	1	1	20	2	2	20	2	2	57	5	5
柔道整復学科	昼	48	0	0	36	0	0	35	9	0	119	9	0
	夜	20	2	1	13	0	1	20	0	0	53	2	2
合計		165	6	2	144	4	4	133	13	3	442	23	9

(単位：人)

2020 年 4 月 1 日現在		1 年			2 年			3 年			合計		
		在籍	(留年)	(休学)	在籍		在籍	(留年)	(休学)	在籍		在籍	(留年)
鍼灸学科	昼	85	0	0	鍼灸学科	昼	85	0	0	鍼灸学科	昼	85	0
	夜	20	0	0		夜	20	0	0		夜	20	0
柔道整復学科	昼	40	0	0	柔道整復学科	昼	40	0	0	柔道整復学科	昼	40	0
	夜	14	0	0		夜	14	0	0		夜	14	0
合計		159	0	0	132	合計	159	0	0	132	合計	159	0

\* 留年および休学は在籍者数の内数

(単位：人)

2018 年 4 月 1 日現在		1 年			2 年			3 年			合計		
		在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)
鍼灸学科	昼	72	3	0	56	1	0	74	11	1	202	15	1
	夜	21	1	0	16	0	0	14	3	0	51	4	0
柔道整復学科	昼	58	2	0	41	2	0	68	6	1	167	10	1
	夜	18	0	0	10	0	1	9	2	0	37	2	1
合計		169	6	0	123	3	1	165	22	2	457	31	3

\* 留年および休学は在籍者数の内数

### ② 年度別退学者数

(単位：人)

年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
退学者数	34	38	42	26	25
退学者比率	6.2%	7.7%	9.2%	6.0%	5.8%
在学生数	545	492	457	430	432

### ③志願者数

(単位:人)

入学年度		2016	2017	2018	2019	2020
学科	コース	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者
鍼灸	午前	50	56	42	46	55
	医療資格者	4	—	—	—	—
	昼間	27	18	33	39	42
	夜間	16	20	21	27	25
柔整	アドバンス	25	23	32	19	14
	昼間	54	26	26	21	29
	夜間	9	11	22	24	22
合計		233	185	154	176	187

### ⑤ 国家試験合格率

<2020 年度>

はり師きゅう師国家試験 (第 46 期)

国家試験成績		2020 年度 (第 29 回) 2021 年 2 月実施		
		受験者	合格者	合格率
本校現役受験者	はり師	62	55	88.7%
	きゅう師	62	56	90.3%
全現役受験者	はり師	2,914	2,558	87.8%
	きゅう師	2,914	2,597	89.1%
本校全受験者	はり師	96	57	59.4%
	きゅう師	93	58	62.4%
全受験者	はり師	3,853	2,698	70.0%
	きゅう師	3,797	2,740	72.2%

柔道整復師国家試験 (第 19 期)

国家試験成績		2020 年度 (第 29 回) 2021 年 3 月実施		
		受験者	合格者	合格率
本校現役受験者	柔道整復師	52	38	73.1%
全現役受験者	柔道整復師	3,165	2,709	85.6%
本校全受験者	柔道整復師	93	45	48.4%
全受験者	柔道整復師	4,561	3,011	66.0%

<2019 年度>

はり師きゅう師国家試験 (第 45 期)

国家試験成績		2019 年度 (第 28 回) 2020 年 2 月実施		
		受験者	合格者	合格率
本校現役受験者	はり師	63	62	98.4%
	きゅう師	63	62	98.4%
全現役受験者	はり師	3466	3095	89.3%
	きゅう師	3466	3080	88.9%
本校全受験者	はり師	109	68	62.4%
	きゅう師	105	67	63.8%
全受験者	はり師	4431	3263	73.6%
	きゅう師	4308	3201	74.3%

柔道整復師国家試験（第 18 期）

国家試験成績		2019 年度（第 28 回）2020 年 3 月実施		
		受験者	合格者	合格率
本校現役受験者	柔道整復師	42	33	78.6%
全現役受験者	柔道整復師	3708	3144	84.8%
本校全受験者	柔道整復師	102	40	39.2%
全受験者	柔道整復師	5270	3401	64.5%

⑤ 求人状況

・求人倍率

	鍼灸学科 (はり師・きゅう師)	柔道整復学科 (柔道整復師)
求人数（人）	2,869	2,903
求職者数（人）	31	23
求人倍率（倍）	92.5	126.2

## 4. 森ノ宮医療学園ランゲージスクール

### 【教務関係】

#### ①授業

- ・非漢字圏の学生を対象としているため、4コマ授業のうち1コマは漢字の授業を行い、漢字への苦手意識の克服と定着を図るためのカリキュラムを作成した。
- ・前日勉強した内容のチェックテストを翌日に行い、既習事項の定着を図った。
- ・新型コロナウイルスの影響で登校できなかった期間は課題とオンライン授業で対応、また2020年度入学生も入国が遅れたため、現地とZoomをつなぎ、オンライン授業を実施した。

#### ②成績

- ・年4回の定期試験を行い、成績不振の学生には長期休暇を利用し、補講を実施した。

#### ③出席状況

- ・前年度同様、タイムカードを利用し、学生が登校した際に打刻させ出席管理を行った。授業開始時刻を過ぎても打刻していない学生には、すぐに電話連絡を入れ出席管理を徹底した。
- ・欠席する際は、必ず事前に本人が連絡するよう指導し、無断欠席をゼロにできた。

#### ④面談

- ・新型コロナウイルスの影響で、4月下旬の面談を実施することが出来なかったが、それ以外は予定通り実施できた。個々の学生の悩みを把握できるよう、面談は担任と事務課の職員で行い、学習・アルバイト状況に問題があると思われる学生には早期に対応することができた。

#### ⑤授業アンケート

- ・年2回、非常勤講師を含めた全教員の授業について、学生にアンケートを実施し、授業満足度を調査した。アンケートは、「わかりやすさ」のみを問う形式とし、評価は3段階とした。(前期：2020年9月、後期：2021年3月に実施)
- アンケートの結果を受け、学生の意見を把握し、全教員に対し理事面談を行った。

#### ⑥JLPT対策

- ・2019年4月生34名、2019年10月生31名全員が2020年12月に実施されたJLPT（日本語能力試験）を受験。

通常授業より週1日のペースでJLPT対策の授業を取り入れ、宿題として各科目の課題をGoogleで与え、全問正解するまで問題を解かせた。また、試験2週間前にはJLPT対策週間を2週間設けた。2カ月前から問題集を使用した模擬テストを実施し、模試の成績が悪

い学生には補講を実施した。(午前の学生は授業開始前の 30 分、午後の学生は授業終了後実施)

#### ⑦J-TEST (1 年に 6 回、奇数月に開催)

- ・新型コロナウイルスの影響により、2020 年 7 月の JLPT が中止となった。JLPT の代わりとして、2019 年 4 月生 32 名、2019 年 10 月生 30 名が 7 月 11 日に行われた J-TEST を受験。

- ・J-TEST 対策として、試験の 1 カ月前より模擬試験を 4 回実施。また、試験の 3 週間前から J-TEST 対策週間を設け、問題集を利用し問題を解かせ、フィードバックを行った。

#### ⑧教員研修

- ・授業前は教案作成等の相談、教案の確認を行った。また、8 月より 2 カ月に 1 度教員の勉強会を開催し、指導力の底上げを図った。

### 【事務関係】

#### ① 寮

- ・ポートタウン西の賃貸アパートの一部を借り上げ、電化製品や Wi-Fi 等、生活用品を揃え、ランゲージスクールの学生寮として運営している。
- ・大阪港に 100 名程度収容できる借り上げ寮(グッドフォーチュン大阪港)を準備した。

#### ② 経理

- ・在学生や新入生の学納金請求や支払い業務、督促を行った。
- ・銀行口座作成の手続きサポートや手続きが完了するまでの間の寮費を事務課窓口で対応した。

#### ③ 学生支援

- ・在学生や新入生に対し、キャリア共済事業団の学生傷害保険の加入手続きを行った。
- ・学生の病院診察や通院の付き添い、学生サービスとしてポケットークの導入を行い、学生が一人でも病院を受診できるようにした。
- ・アルバイト先の開拓や斡旋を行った。
- ・アルバイト先と連携し、新入生採用、在学生の面談等アルバイトに関するサポートを行った。
- ・他の専門学校への進学希望者に対し、学校見学を実施した。
- ・新入生に対し本学および南港病院にて健康診断を実施した。
- ・学生生活実態調査を実施し、学生生活全般や学習状況の把握を行い、教職員内で共有することで業務改善を行っている。

- ・学生の経済問題に対する個別相談と助言を行った。
- ・退学学生に対する、進路相談と学費の支払い相談に対応した。
- ・奨学金貸与や修学資金貸付の連帯保証人をしてくださる介護施設の開拓を行った。

#### ④ 在留カード

- ・新入生入国時にかかる空港出迎えや寮までの案内、住民登録や在留カード取得、印鑑作成、学生証の発行等のサポートを行った。
- ・年2回の在留カード更新に関する業務を行った。
- ・特定技能への切り替えのサポートを行った。

#### ⑤ 学校行事

- ・新入生入学式を開催した。
- ・京都文化体験を行った。
- ・ランゲージスクール初の卒業式を開催した。

#### ⑥ その他

- ・介護福祉学科設置に伴う大阪府私学課および福祉部へ開設の申請を行った。
- ・介護福祉学科棟の建設、備品の準備に関する業務を行った。
- ・ランゲージスクール教職員の福利厚生として Will 保険の加入手続きを行った。

### 【広報関係】

- ・東南アジア諸国の日本語学校、エージェントへの営業活動（ベトナム、ネパール、フィリピン、インドネシア、モンゴル、ミャンマー、ラオス）
- ・本学受験希望者に対し、ZOOM で学校説明会、入学試験を実施した。
- ・本学合格者に対し、在留資格申請手続きを行った。
- ・ホームページ、Facebook サイトの制作を行った。
- ・ポスター、パンフレット、オリジナルグッズ媒体の制作を行った。
- ・各介護施設へ奨学金貸与の依頼や奨学金を貸与いただく学生の選考に協力した。
- ・介護福祉学科のオープンキャンパス、入学試験を行った。

### 【事業成果】

- ・2020 年度日本語学科の入学生は、4 月 15 名、10 月 5 名の計 20 名となり、予定より若干すくなくかった。
- ・日本語学科在留資格申請に対する交付結果は、2020 年 10 月生が申請 12 名に対し 10 名、2021 年 4 月生は 71 名に対し 58 名が在留資格認定証明書の交付を受けた。
- ・68 名の卒業生に対し、計 50 名が内部進学することとなった。

- ・ JLPT 受験結果としては、N2 が 5 名、N3 が 25 名、N4 が 3 名の合格であった。
- ・ 2021 年 3 月の学生生活実態調査では、総体的に学生生活に満足しているアンケート結果が出ており、入学後の日本語学習に対するモチベーションが上がった学生も 90%であった。


#### 2020 年 12 月 JLPT 受験結果

2020 年度第 2 回日本語能力試験 (2020 年 12 月 6 日実施)				
	受験者数	合格者数	合格率	国内合格率
N2	22	5	22.7%	50.6%
N3	37	25	67.5%	50.5%
N4	6	3	50.0%	42.4%

#### 2020 年 7 月 J. TEST 受験結果

2020 年度 J. TEST (2020 年 7 月 11 日実施)			
	受験者数	合格者数	合格率
A-C レベル	5	0	0%
D-E レベル	57	21 名 (N3 レベル)	36.8%
		26 名 (N4 レベル)	45.6%

#### 2020 年度学生生活実態調査結果 (2021 年 3 月実施)

3 日本に来る前と今で、(勉強の)やる気は上がりましたか、下がりましたか？										
	総合	1年	2年	1年1組	1年A組	2年1組	2年2組	2年A組	2年B組	
とても上がった	17%	1	16	1	0	4	7	3	2	 <ul style="list-style-type: none"> <li>とても上がった</li> <li>少し上がった</li> <li>普通</li> <li>少し下がった</li> <li>下がった</li> </ul>
少し上がった	41%	13	29	4	9	7	8	6	8	
普通	32%	10	23	9	1	7	4	7	5	
少し下がった	8%	1	7	1	0	4	1	2	0	
下がった	2%	1	1	1	0	0	0	0	1	
総数	102	26	76	16	10	22	20	18	16	

来た時を50%とすると、今はどれくらいですか。(現在の%選択)										
	総合	1年	2年	1年1組	1年A組	2年1組	2年2組	2年A組	2年B組	
100%	3%	0	3	0	0	0	3	0	0	 <ul style="list-style-type: none"> <li>100%</li> <li>90%</li> <li>80%</li> <li>70%</li> <li>60%</li> <li>50%</li> <li>40%</li> <li>30%</li> <li>20%</li> <li>10%</li> <li>0%</li> </ul>
90%	8%	3	5	1	2	1	0	3	1	
80%	34%	5	30	3	2	9	6	10	5	
70%	35%	14	22	9	5	4	8	2	8	
60%	10%	2	8	1	1	7	0	1	0	
50%	5%	1	4	1	0	1	2	1	0	
40%	2%	0	2	0	0	0	1	1	0	
30%	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	
20%	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	
10%	1%	1	0	1	0	0	0	0	0	
0%	2%	0	2	0	0	0	0	0	2	
総数	102	26	76	16	10	22	20	18	16	



## 5. 森ノ宮医療学園付属診療所

### (1) みどりの風クリニック

#### 1. 事業進捗状況

##### 1) みどりの風クリニック診療時間

下記の通り診療業務を実施した。

##### (1) 整形外科

	月	火	水	木	金
9:00～12:00	●	●	●	●	●
13:30～17:00	●	●	●	●	●

##### (2) 内科・循環器内科・漢方内科

	月	火	水	木	金
9:00～12:00	●	●	●	●	●
13:30～17:00	●	●	●	●	●

##### 2) 新型コロナウイルスへの各対応

松尾医師を中心に、下記の通りクリニック全体で対応を実施した。

##### (1) 発熱外来の設置

職員用通路を簡易的に利用した発熱外来を設置し、発熱・感冒症状のあるコロナ疑いの患者を隔離し、防護服を着用し最低人員にて診療を行った

・実施期間：2020年4月～翌3月

・対応人数：患者106名

##### (2) 施設内での感染対策の徹底

・施設内全員マスク着用義務化

・アルコール拭き取り消毒の徹底

・換気の徹底

・待合椅子の間隔変更

・職員にゴーグル・エプロン・手袋の着用

・リハビリ患者のタオルを患者毎の交換

・患者・職員全員の毎日の検温、入り口に検温モニタの導入

・待合用新聞・雑誌等の回収

・受付にビニールシート設置

##### (3) 電話再診・長期処方の実施

・電話再診・長期処方により患者に来院回数を控えてもらい、必要な医療を提供を継続した

3) 超音波検査装置によるエコー検査の実施

2020年8月より超音波検査装置を導入し、各エコー検査を実施した。

- ・実施人数：患者延べ106名
- ・保険請求実績額：675,300円

4) 健康診断・予防接種等の実施状況

下記の通り、当クリニックにおいて森ノ宮医療学園専門学校の学生に対するB型肝炎予防接種、森ノ宮医療学園専門学校の実施基準による学生健診、また、厚生労働省で定められている教職員の健康診断等を法人からの依頼により実施した。

(1) 学園教職員の入職時健診の受入

- ・実施機関：2020年4月～翌3月
- ・実施人数：50名（大学38名、専門学校3名、WLS6名、診療所3名）

(2) 学園教職員の定期健康診断の受入

- ・実施期間：2020年7月～翌3月まで
- ・実施人数：16名（大学3名、専門学校1名、診療所12名）  
（学園の健診日に受けられなかった職員のみ）

(3) インフルエンザ予防接種実施

- ・実施期間：2020年10月5日～12月28日まで
- ・実施人数：362名（一般患者・学生193名、大学教職員136名、専門学校教職員17名、診療所職員16名）

(4) 専門学校の学生健診の受入

- ・実施日時：2020年9月～10月
- ・実施人数：学生7名  
（専門学校での健診日に受けられなかった学生のみ）

(5) 専門学校の学生に対するB型肝炎ワクチン予防接種

- 1回目 2020年11月2日～12月末 69名
- 2回目 2020年12月1日～翌2月末 59名
- 3回目 2021年3月22日～継続中 1名（3/31まで）

5) 臨床実習・卒後研修等の実施について

今年度は新型コロナウイルスの影響により全て中止とした。

6) 奈良テレビ・ラジオ出演（元気もりもり学園）

- ・広報活動の一環として実施した

## 7) スタッフの学術活動状況

### (1) 学術参加状況

- ・新型コロナウイルス禍の為、オンラインセミナーの参加のみとなった

### (2) 加入団体

- ・日本医師会
- ・大阪府医師会
- ・東成医師会
- ・日本整形外科学会
- ・中部整形外科学会
- ・四国整形外科学会
- ・整形災害外科学研究助成財団
- ・日本内科医学会
- ・日本循環器学会
- ・日本プライマリケア連合学会
- ・日本看護協会
- ・大阪府看護協会
- ・日本診療放射線技師会
- ・大阪府診療放射線技師会
- ・全国病院理学療法協会
- ・日本理学療法協会
- ・日本柔道整復接骨医学会

## 2. 保険診療状況

### 1) 患者動向実績

患者数は他の医療機関と同様に、新型コロナウイルスの影響による来院控えが多くでたことに加え、整形部門では宮崎医師退職に伴い医師確保の点から夜の時間帯の診察（17時～19時30分）を行わない方針としたことも相まって、大幅な減少となった。

内科部門は前年度と比較し、2,312人減と大幅な減少（前年度比約40%減）となった。整形部門も8,872人減と大幅な減少（前年度比約39%減）となり、全体で11,000人を超える大幅な減少（前年度比約39%減）となった。

2020年度 (上段:本年度、中段:前年度、下段:差異)単位:人

月	日数	全体			内科			整形		
		患者数	初診	再診	患者数	初診	再診	患者数	初診	再診
計	238	17,469	2,280	15,189	3,504	642	2,862	13,965	1,638	12,327
	234	28,653	3,379	25,274	5,816	886	4,930	22,837	2,493	20,344
	4	▲ 11,184	▲ 1,099	▲ 10,085	▲ 2,312	▲ 244	▲ 2,068	▲ 8,872	▲ 855	▲ 8,017

## 2) 保険診療実績

保険請求額は患者動向と同様に、内科部門は 645 万円減少（前年度比約 26%減）した。整形部門も同様に 4,151 万円減少（前年度比約 42%減）と大幅に減少し、全体でも前年度を大きく下回る約 4,800 万円減少（前年度比約 39%減）する結果となった。

2020年度				(上段:本年度、中段:前年度、下段:差異)単位:人・円						
全体				内科			整形			
月	日数	患者数	請求金額	平均単価	患者数	請求金額	平均単価	患者数	請求金額	平均単価
計	238	17,469	75,882,580	4,344	3,504	18,001,760	5,137	13,965	57,880,820	4,145
	234	28,653	123,852,450	4,322	5,816	24,456,160	4,205	22,837	99,396,290	4,352
	4	▲ 11,184	▲ 47,969,870	21	▲ 2,312	▲ 6,454,400	933	▲ 8,872	▲ 41,515,470	▲ 208

※平均単価は端数を四捨五入

## 3) 自由診療状況

健康診断・予防接種・特定健診・自賠責等の自由診療については、818 万円となり、前年度の 1,954 万円を約 1,136 万円（前年度比約 58%減）下回る結果となった。

## (2) みどりの風鍼灸院

### 1) 人員について

常勤 3 人、嘱託 1 人、月～木曜日の午前・午後診 1 人の計 6 人体制で対応した。

### 2) 鍼灸院業務日程について

①診療日数	234 日
②休診日	131 日
a) 土曜・日曜・祝日	119 日
b) 夏期休診日	4 日 (8/11・12・13・14)
c) 年末年始休診日	3 日 (12/29・30・31)
d) 開院記念日	1 日 (6/3)
e) 臨時休診 (コロナ禍：暫定的テレワーク)	4 日 (4/27・28・30・5/1)

### 3) 鍼灸院診療時間について

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00～11:00	○	○	○	○	○	×
午後診 1:30～4:00	○	○	○	○	○	×
夜間診 4:30～7:30	○	○	×	○	○	×
休診日	土曜日、日曜日、祝日					

### 4) 鍼灸院行事日程について

- ①全日本鍼灸学会学術大会 (京都) : 3 日間 (2020 年 6 月 : 中止)
- ②日本臨床鍼灸懇話会全国集会 (大阪) : 2 日間 (2020 年 11 月 : 中止)
- ③毎月第 1 金曜日 : クリニック・鍼灸院合同定例会議 (PM 13:00～13:30)

### 5) 鍼灸院学術活動報告について

鍼灸臨床専門誌

- ①鍼灸 OSAKA Vol. 36 No. 1/2020  
症例報告 : 「手の痛みに対する鍼灸治療の 2 症例」 中島 茂
- ②鍼灸 OSAKA Vol. 36 No. 3/2020  
コラム : 「澤田流二間穴の多壮灸が奏功」 中島 茂

### 6) 鍼灸学科臨床実習について

新型コロナウイルスに伴い臨床実習は 2 年生と 3 年生年の全コースについて前期を休止とした。1 年生の臨床実習オリエンテーションについては W E B 録画動画配信で行った。中期授業の開始時の 8 月 24 日 (月) から全学年、全コースにおいて臨床実習を開始した。全コースの 1 年生と 3 年生は、みどりの風鍼灸院で実施。2 年生については学外臨床実習として、「提携鍼灸院」のもとで開始した。後期は、2 年生と 3 年生は、みどりの風鍼灸院で実施。1 年生については学外臨床実習とし

て、「提携鍼灸院」のもとで行った。

12月4日（金）から12月15日（火）の臨床実習については、大阪モデルにおけるレッドステージに対する対応として休止としたが3月から再開した

## 7) 卒後研修制度実施について

2020年度は4月から2名（内1名は2年目）の卒後臨床研修鍼灸師の研修を予定していたが、新型コロナウイルス禍のため4月、5月、6月は中止とした。7月から卒後臨床研修を開始した。12月4日（金）から12月15日（火）の卒後臨床研修については、大阪モデルにおけるレッドステージに対する対応として休止としたが3月から再開した。

2020年度の卒後研修生は2名。

1年間の研修生：1名（研修終了）、2年間の研修生：1名（2年目修了）。

## 8) 入学前の鍼灸受療体験の導入（5年目）

鍼灸学科入学者において一度も鍼灸治療を経験したことがない学生が増加傾向にある。

そこで、専門学校鍼灸学科の入学内定者に対して、入学者本人と家族1名の無料体験を実施した。2020年度は21名（内家族7名）が受療を体験した。（前年度：16名（内家族8名）

## 9) 鍼灸療養費払い（鍼灸保険）について

①療養費については、鍼灸院スタッフが、療養費払いの手続きをしっかりと理解して、学生に対して“正しい鍼灸療養費制度”の教育に重きを置いて進める方向で始動した。

特に、同意書においては、患者さんがいつもお世話になっている“かかりつけの医師”に「鍼灸での治療を受けたい」と伝えて同意書を発行していただけるか、相談していただくことを大前提として進めて行くことにしている。

## 10) 2019年度の患者動向と2020年度患者動向についての詳細

単位：人

	2019年度					
	全体患者(新患)	一般患者	小児患者	学生患者	卒業生患者	職員患者
4月	452( 15)	242	39	90	68	13
5月	455( 8)	240	25	104	70	16
6月	434( 15)	206	23	130	59	16
7月	446( 12)	245	19	105	60	17
8月	376( 7)	217	22	82	52	3
9月	417( 10)	222	18	119	50	8
小計	2580( 67)	1372	146	630	359	73
10月	469( 12)	239	20	150	53	7
11月	465( 14)	232	37	132	57	7
12月	468( 9)	235	30	137	58	8
1月	458( 12)	236	25	140	51	6
2月	409( 14)	217	18	122	45	7
3月	410( 16)	213	36	93	58	10
小計	2679( 77)	1372	166	774	322	45
計	5259( 144)	2744	312	1404	681	118

	2020年度					
	全体患者(新患)	一般患者	小児患者	学生患者	卒業生患者	職員患者
4月	238( 1)	137	22	36	39	4
5月	188( 10)	131	3	13	41	0
6月	299( 15)	162	9	65	56	7
7月	342( 12)	189	13	93	41	6
8月	247( 4)	149	9	57	23	9
9月	336( 13)	190	9	88	35	14
10月	413( 17)	222	18	124	32	17
小計	2063( 72)	1180	83	476	267	57
11月	363( 11)	205	13	97	30	18
12月	381( 14)	209	17	107	35	13
1月	324( 10)	173	13	92	33	13
2月	343( 10)	187	16	97	25	18
3月	421( 15)	234	23	103	34	27
小計	1832( 60)	1008	82	496	157	89
計	3895(132)	2188	165	972	424	146
前年度差	▲1364(▲12)	▲556	▲147	▲432	▲257	28

#### ① 年間総患者数について

2020 年度年間総患者数は 3,895 人（月平均約 324.6 人）となる。前年度 2019 年の 5,259 人と比べて 1364 人減（月平均約 113.7 人減）と患者数は減少した。

#### ② 年間新患者数について

2020 年度年間新患者数は 132 人（月平均約 11.0 人）となる。前年度 2019 年の 144 人と比べて 12 人減（月平均約 1.0 人減）と新患者数は減少した。

#### ③ 年間一般患者数について

2020 年度年間一般患者数は 2,188 人（月平均約 182.3 人）となる。前年度 2019 年の 2,744 人と比べて 556 人減（月平均約 46.3 人減）と一般患者数は減少した。

#### ④ 年間小児患者数について

2020 年度年間小児患者数は 165 人（月平均約 13.8 人）となる。前年度 2019 年の 312 人と比べて 147 人減と小児患者数は減少した。

#### ⑤ 年間学生患者数について

2020 年度年間学生患者数は、972 人（月平均約 81.0 人）となる。前年度 2019 年の 1,404 人と比べて 432 人減と学生患者数は減少した。

#### ⑥ 年間卒業生患者数について

2020 年度年間卒業生患者数は 424 人（月平均約 35.3 人）となる。前年度 2019 年の 681 人と比べて 257 人減と卒業生患者数は減少した。

#### ⑦ 年間職員患者数について

2020 年度年間職員患者数は 146 人（月平均約 12.2 人）となる。前年度 2019 年の 118 人と比べて 28 人増と職員患者数は増加した。

### 11) 2020 年度の鍼灸保健患者数

2020 年度年間鍼灸保険患者数は 5 人（実人数）。延べ患者数は 39 人。（一般患者に含む）前年度 2019 年は 0 人と鍼灸保険患者数は増加した。

12) 2020 年度と前年度の患者数と施術現金収入動向について

	2019年度		2020年度	
	患者数(新患): 人	施術収入	患者数(新患): 人	施術収入
4月	452 ( 15)	¥979, 500	238 ( 1)	¥543, 300
5月	455 ( 8)	¥983, 300	188 ( 10)	¥510, 200
6月	434 ( 15)	¥866, 200	299 ( 15)	¥670, 500
7月	446 ( 12)	¥967, 800	342 ( 12)	¥749, 200
8月	376 ( 7)	¥847, 400	247 ( 4)	¥559, 200
9月	417 ( 10)	¥883, 100	336 ( 13)	¥752, 100
10月	469 ( 12)	¥970, 200	413 ( 17)	¥872, 014
小計	3049 ( 79)	¥6, 497, 500	2063 ( 72)	¥4, 656, 514
11月	465 ( 14)	¥931, 600	363 ( 11)	¥788, 772
12月	468 ( 9)	¥954, 400	381 ( 14)	¥815, 530
1月	458 ( 12)	¥941, 200	324 ( 10)	¥642, 845
2月	409 ( 14)	¥864, 500	343 ( 10)	¥680, 873
3月	410 ( 16)	¥816, 900	421 ( 15)	¥820, 601
小計	2210 ( 65)	¥4, 508, 600	1832 ( 60)	¥3, 748, 621
合計	5259 ( 144)	¥11, 006, 100	3895 (132)	¥8, 405, 135

2020 年度鍼灸施術現金収入は、8, 405, 135 円である。

前年の 11, 006, 100 円と比べて 2, 600, 965 円増と施術現金収入は減少した。



## 6. 京都治療院

### (1) 人員体制

常 勤：柔道整復師 3 名、鍼灸師 1 名 計 4 名

4 月 6 日入職、鍼灸師を 1 名新規雇用

受 付：2 名（午前 1 名、午後 1 名）

### (2) 治療院業務日数。

①診療日数 219 日

・診療日時 9：00～12：30（受付終了：12:00）／16：00～20：00（受付終了 19:30）

月～金（休診：土・日・祝日・他）

②休診日数 146 日

※特に新型コロナウイルスの影響により 4 月 13 日～5 月 6 日まで臨時休診。

※7 月 8・9 日 床上浸水のため臨時休診

※11 月 26 日 カーペット張替えのため臨時休業

### (3) 広報・院外活動

#### 【継続活動】

①トレーナー活動

（バニーズ京都 SC（群馬移管により 2020 年度終了）、京都大学ラグロス部、京都精華高校サッカー部、京都教育大附属高校他）

②運動部マネージャー等対象とした勉強会開催（ケガ予防やテーピング方法等：年 3～6 回程）

③小児鍼普及活動（地域児童館において小児鍼体験講座：9 月 17 日）

④治療院前でのブラックボード設置や LINE@、インスタグラム、Facebook による情報発信

⑤近隣大学運動部へのアプローチ（京都大学・京都産業大学）

⑥大塚製薬と地域の健康維持・増進への取り組みの一つとして飲料自動販売機を院前に設置

⑦御所東クリニックとの医療連携

⑧京都大学男子ラグロス部との安全・安心のための部活にしていくための連携

（外部治療院連携）

#### 【新規活動】

①環境省参画の「熱中症予防 声かけプロジェクト」賛同会員に登録し、熱中症対策アドバイザーとして活動した。主な活動は下記の通り。

・治療院前に「暑さ指数」を掲示し、通行人等へ熱中症の注意喚起を行った。

②訴求力を高めるためホームページ作成を自作から専門業者に依頼（本格稼働は 2020 年度）。

#### 【その他】

①トレーニング会員を実施したことで、大学生や中学生、中年層の利用者が増加

②美容鍼灸・整顔を実施。毎月 10 名以上の女性が利用中

#### （４）運営状況等

「（３）広報・院外活動」の特に院外活動が新型コロナウイルスの影響により激減した。それに伴い、治療院の学生数の減少がみられ患者数の減少がみられる。また、大学や高校での部活の休止等がある１年となった。

#### 【令和２年度と前年度の患者数と施術売上の動向について】

「令和元年患者数」

	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	計
鍼灸施術数	88	91	103	105	92	90	138	121	119	107	113	0	1,167
接骨施術数	236	275	345	354	303	380	401	339	289	257	325	290	3,794
美容施術数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他施術	2	4	11	12	8	5	20	5	0	7	9	40	123
計	326	370	459	471	403	475	559	465	408	371	447	330	5,084

「令和２年患者数」

	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	計	前年比
鍼灸施術数	3	50	63	71	78	89	81	97	77	62	66	70	807	69%
接骨施術数	90	84	139	177	167	259	406	370	307	177	157	302	2,635	69%
美容施術数	—	—	10	12	11	15	16	18	15	11	12	10	130	
その他施術	13	7	18	14	24	30	36	48	28	17	31	47	313	
計	106	141	230	274	280	393	539	533	427	267	266	429	3,885	76%

※その他施術は慢性・機器・物販

令和２年度の患者総数は、3,885人、コロナ禍により前年度5,084人より1,199人減少。

「令和元年度売上」

	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	計
鍼灸施術	¥232,100	¥236,120	¥253,360	¥276,600	¥183,360	¥213,420	¥302,620	¥284,940	¥275,340	¥277,160	¥317,570	¥0	2,852,590
接骨施術	¥444,933	¥518,700	¥584,317	¥602,167	¥514,720	¥622,967	¥655,433	¥569,267	¥480,900	¥444,133	¥559,133	¥519,767	6,516,437
美容施術	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	¥14,400	¥25,160	¥42,840	¥78,430	¥61,770	¥54,250	¥54,250	¥26,850	¥7,550	¥19,200	¥37,450	¥167,931	590,081
計	¥691,433	¥779,980	¥880,517	¥957,197	¥759,850	¥890,637	¥1,012,303	¥881,057	¥763,790	¥740,493	¥914,153	¥687,698	9,959,108

「令和２年度売上」

	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	計	前年比
鍼灸施術	¥4,000	¥126,970	¥175,670	¥221,490	¥265,310	¥254,670	¥247,400	¥296,570	¥233,820	¥203,100	¥194,710	¥189,430	2,413,140	85%
接骨施術	¥129,567	¥163,900	¥250,633	¥323,367	¥299,233	¥485,467	¥681,303	¥627,247	¥502,967	¥286,190	¥289,933	¥539,117	4,578,924	70%
美容施術	—	¥0	¥63,000	¥81,500	¥74,000	¥103,500	¥106,000	¥130,000	¥101,500	¥82,000	¥78,500	¥67,500	887,500	
その他	¥42,900	¥11,000	¥51,950	¥59,000	¥77,525	¥122,800	¥97,450	¥83,500	¥64,100	¥60,675	¥78,100	¥112,550	861,550	
計	¥176,467	¥301,870	¥541,253	¥685,357	¥716,068	¥966,437	¥1,132,153	¥1,137,317	¥902,387	¥631,965	¥641,243	¥908,597	8,741,114	88%

※労災・自賠責保険・生活保護は含まず。また健康保険による売り上げは発生主義に基づき保険者分も合算

令和２年度の売上金額は、8,741,114円、前年度の売上金額9,959,108円より1,217,994円減少。  
コロナ禍により、前年度と比較して患者数が2.4割減少したものの、売上は1.2割減少に止めた。

## 7. 出版部

### 1. 学生、卒業生への知識や情報の開示と還元

#### 1-1 主力雑誌の継続的発刊

鍼灸 OSAKA137 号から 139 号までの 3 号を発刊。継続的かつ予定通りの発刊を行った。また、138 号では初めて付録（アマビエのイラスト入りマスクケース）付を実施した。

テーマ：膝の痛みと手の痛み（137 号）冷えと冷え症-鑑別と治療-（138 号）

眼科疾患への治療-鍼灸・漢方・マッサージ（139 号）

あとはとき 7 号から 10 号までの 4 号を発刊。セット販売（定期購読）も引き続き実施。東洋療法学校協会加盟校への謹呈も行った。森ノ宮医療学園出版部（以下出版部）は公益法人の収益事業でありつつ一般書店でも書籍を販売できる機能を活かして『あとはとき』発行を担っている。

テーマ：あはき Q&A（7 号）あはきの近未来（8 号）

伝統医療のことばを探す（9 号）あはき現代史と私（10 号）

#### 1-2 既刊本のブラッシュアップ

本学園専門学校をはじめ、他校でも教科書採用される『ポケット鍼灸臨床ガイド』の在庫僅少に伴い、1,000 部の増刷を実施した。

『ツボ暗記カード』の在庫僅少に伴い、大幅改訂版を制作。2021 年度新入生に向け制作は完了し、印刷ならびに支払処理を残すのみとなった。

#### 1-3 教科書販売

専門学校新入生の教科書販売も実施し、鍼灸学科 933,048 円（販売 7,580,620 円仕入 6,647,572 円）、柔道整復学科 407,853 円（販売 3,262,985 円仕入 2,855,132 円）の売上となった。2020 年度より柔道整復学科が 1 学年のみの購入となったため、全体的に前年より減額となった。

### 2. 学園広報への貢献

#### 2-1 書籍の書店配刊

取次書店を通し全国 33 店舗に配刊（常備委託）。2020 年 5 月に入れ替え実施。2 年常備委託にあとはときを追加した。

#### 2-2 出展・広告への参画

コロナ禍において従来の出展（全国大会等での対面販売）が難しくなった。インターネット配信による大会実施に伴い、出展もウェブサイト展示会への参画が余儀なくされた。現在ウェブサイト展示会用サイトの制作にとりかかり、2021 年度出展へ向け準備を行っている。

日本鍼灸新報、現代鍼灸学、伝統鍼灸、メリディアン、鍼灸柔整新聞、漢方の臨床、中医臨床、経絡治療、日本小児はり学会会誌など学会誌や業界誌へ、販促の重要なツールとして引き続き参画した。

## 2－3 校友会との協力

昨年度に引き続き校友会報の制作、ならびに3月発送卒業生用DMの制作を行った。

## 3. 収益事業としての継続

### 3－1 販売管理の徹底

正確なデータを収集するため、受発注者を絞り、入力や発送など基本的事項を見直す作業に費やした。その中で販売ソフトの活用や、管理票、帳票など仕分け、整理も行い、次年度に向けて準備している。「収益拡大」を目標に、ハードル一つ一つを超えることを現段階では重視している。

### Ⅲ. 決算の概要

#### 1. 学校法人会計

- 2020 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のための支出増（学修支援金、オンライン授業対応経費、感染防止資材経費、冷暖房費用等々）が影響し、教育活動収支（基本金組入前当年度収支差額）は、134,849,408 円と 2019 年度から半減した。
- 大型の設備投資や借入等を考慮した資金収支は、LS 校舎建設費に充当するための新規借り入れ 3 億 6 千万円等があったため、約 4 億円の黒字となり、翌年度繰越支払資金（≒期末現預金）は、3,584,244,828 円となった。

(円)

項目	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度
教育活動収入	4,060,975,464	3,604,042,394	3,358,303,570	3,053,116,762
教育活動支出	3,916,397,631	3,338,217,401	3,372,856,801	3,022,470,024
教育活動収支差額	144,577,833	265,824,993	△14,553,231	30,646,738
経常収支差額	129,129,830	255,798,578	△20,599,930	24,302,064
基本金組入前当年度収支差額	134,849,408	263,673,684	△43,897,749	72,086,651
翌年度繰越支払資金	3,584,244,828	2,942,866,630	2,578,623,942	2,350,467,039
長期借入金残高	3,441,971,000	3,391,767,000	2,023,763,000	1,508,759,000

#### 2. 企業会計

- 企業会計分（出版部）は、専門学校の募集苦戦の影響で、同校学生向け教材販売が振るわず 1,103,875 の赤字となった。手持現預金で充当するため、学校法人会計には影響しない。

区分	2020 年度	2019 年度	増減
売上	27,573,436	29,509,259	-1,935,823
損益	-1,103,875	-588,344	-515,531

#### 3. 中期財務見通しへの影響

- 上記の通り、約 4 億円の資金収支黒字があったため、中期財務見通しも上方修正となった。
- ただし、これは新型コロナウイルス感染症による特別事情であり、アフターコロナでは 4 億程度の下振れ可能性があるため、当初予想（2021 年度予算策定時）を前提に財務政策を進める。

(参考：中期財務見通し)

区分	220 決算時	2021 予算時	補足
① 投資・借入返済後 CF 黒字転換年度	2022 年度	2022 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ②③は、借入増額（約 8 億）や大学収入の上振れ（入学検定料・学納金等約 1 億）、WLS の順調拡大（約 1 億）等による。</li> <li>● 2022 年度以降、以下のような主な変動要因（マイナス要因）を想定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と WLS 以外の苦戦</li> <li>・施設老朽化（専門学校本校舎、大学東棟等）</li> <li>・2025 年度以降収入横ばい（事業完成）＋人件費等のコストアップ（教職員数の増加と高齢化）等</li> </ul> </li> <li>● 2020 年度決算はコロナによる特別事情→アフターコロナでは 4 億程度の下振れ可能性有。</li> </ul>
② 2023 年度末投資・借入返済後 CF	365,735,625	314,993,195	
③ 2023 年度末現預金残高	3,431,022,420	2,723,991,973	
④ 借入一括返済可能年度（年間運転資金の 1/2 を留保）	2026 年度	2028 年度	
⑤ 借入一括返済後年間 CF 額 (2020 年度末の土地を除く固定資産額：約 90 億円)	約 5.5 億	約 5 億	

## IV. 第2期中期計画の進捗状況

### 1. 中核プロジェクトの実施状況

#### ① 森ノ宮式「チーム医療教育」確立プロジェクト（大学）：

2019年度に策定した新チーム医療教育(MAC ver.2)を2020年度カリキュラムに配置した。COVID-19パンデミックのため、MBS(Morinomiya Basic Seminar)はオンラインで実施したが、高インパクトと考えていた病院見学実習の実施は見送った。代替授業として病院内案内ビデオや現場医療者のビデオ講義などを模索した。またこれまでの参加学生の意見を踏まえ3年次前期IPW論の見直しを行い、総時間を拡大させ2年次後期のIPW論と3年次前期の症例カンファレンスに再構築した。2021年度後期から配置する。

#### ② 「研究の森」づくりプロジェクト（大学）：

南棟6Fに「インクルーシブ医科学研究所」を設置し、学科横断的な研究所として稼働させることができた。全学科研究プロジェクトから大学全体で推進させる研究プロジェクト11をピックアップし、各学科から教員を配置した。研究所を5グループの専門チームに分け、各グループにPIを配置し、より効率的な研究体制を構築した。2020年度はインクルーシブ医科学研究所から6件の科研費を獲得した。定期的な進捗状況meeting&discussionにより各研究プロジェクトのブラッシュアップと進捗スピードの向上を認めつつある。Pubmed掲載件数40件/年・科研費採択件数年間40件（新規＋継続）を目標に設定した。

#### ③ 財務基盤安定化プロジェクト（学園）：

長期財務推計モデルをこれまでの学園一括計算モデルから事業部門積上モデルに更新し、推計精度の向上を図るとともに、部門別分析を踏まえて、第2期中期計画期間中に各部門がCF黒字を達成すること、及びそのための具体策を2021年度中に策定・実施することを政策化した。

#### ④ 「森ノ宮オリジナルづくり」プロジェクト（学園）：

各部署については中期計画の進捗管理シートに「部署としての強みや独自性の確立状況」を、個人については目標管理シートに「オリジナルスキルの習得状況」を記載している。部署・個人単位での「オリジナルな強み」づくりが進んでいる。

#### ⑤ 「Smart' M'」プロジェクト（学園）：

大学教職員3名でSmart' M'ワーキングを立上げ、a)学内ネットワークを活用したコミュニケーション促進の仕組み、b)コミュニケーションロボットによる留学生の日本語学習支援、c)バーチャルツールを使った新入学生間コミュニケーション促進、について企画提案した。

#### ⑥ 未来投資プロジェクト（学園）：

外国人介護人材の供給を目的として、労働者派遣事業（対象：留学生）を学園の収益事業として開始するとともに、登録支援機関（対象：特定技能）および監理団体（対象：技能実習生）としての事業開始準備（協同組合の設立等）に着手した。

#### ⑦ 「時代に対応した柔軟な学部・学科展開」プロジェクト（大学）：

2020年度開設の診療放射線学科・大学院看護学専攻科は順調に経過した。2022年度の看護学博士課程設置・学部再編（看護学部・リハビリテーション学部（仮称）・医療技術学部（仮称））を目指し準備を進めた。

#### ⑧ 「グローバル' M'」プロジェクト（大学）：

コロナ禍の影響によって短期研修実施は保留にした。危機管理についても、研修会には参加できていない。ランゲージスクール（LS）学生との交流についても実現でき

ていない。「もりもり町の保健室」は、3回実施した。

2021年度はコロナ禍の状況をみながら、地域連携センターと協働し、医療系大学としての地域貢献を目指す。地域を研究フィールドとして地域貢献活動内での研究構築に関しても、「インクルーシブ研究センター（仮称）」と連携して検討する。

また、2025年度開催の日本国際博覧会（万博）関連の活動については、10歳若返りプロジェクトへの企画案を提出した。

⑨ 卒業生支援強化プロジェクト（大学）：

生涯学習支援体制の構築（ブランディングの構築）の目的として、文部科学省が推進している職業実践力育成プログラム（BP）を利用した「運動器理学療法アップデート講座」の開講を予定していたが、COVID-19パンデミックにより開講を中止した。なお、2021年度の開催準備を進めており、目標人数を超える17名の受講申し込みがあり締め切りとなっている。大学院保健医療学研究科看護学専攻に2022年度からの博士後期課程の開設準備を進めており、卒業生だけでなくさらに広く内外に「森ノ宮」を知らしめる方策として、大学院保健医療学研究科看護学専攻博士前期課程（修士課程）にNPコースの設置の検討を行い設置準備に入った。キャリアアップ支援のため各種セミナー等の開催については断念したが、「森ノ宮医療大学学術大会」については、作業療法学科が主管となり10月25日（日）に感染防止を徹底し、オンラインも活用してハイブリッド形式で開催した。

⑩ 入試改革プロジェクト（大学）：

入試改革による入試制度の変更を行った。また共通テストにも参画した。昨年度以上の受験者数を獲得できた。

⑪ 学生支援強化プロジェクト（大学）：

初年次からのキャリア教育の実施および各学年のキャリア教育充実のため、年度初めのオリエンテーションにて学年、学科ごとにキャリアガイダンスの実施を予定していたが、COVID-19パンデミックにより実施を断念した。就職説明会については、オンラインを利用した説明会を一部の学科において実施したところ、参加企業や参加学生からも好評であった。今後の就職説明会の運営の幅が広がったことにより、臨床実習の充実や将来的な就職先の開拓にも応用していきたい。また、キャリアセンターを中核として各学科との連携強化を図っており、臨地実習先や就職先の開拓に結び付いてきている。

⑫ FSD強化プロジェクト（大学）：

2019年末からのCOVID19の世界的大流行による、教育、とりわけ専門学校含む高等教育機関、大学の授業運営、教育方法について通常での対面授業実習授業以外での実施が求められ、結果的に大きな変革が求められた。本学も、教育機会の喪失等を避け、遅滞なく進めるため各学科がその主体となって、学科特性や授業形態の特徴を活かした形で遠隔授業、録画動画授業、効果的な国家試験対策向け授業等その方法の開発と実施を進めた。同時に学生からの直接の声や授業評価アンケートの結果、他大学の実例を活かし、あるいは国立情報研究所（NII）等多大学の取組等も参考にしながら、方法論について手探りの状況であったが、各学科では、そのための予算措置等を駆使して、対面授業以外の方法を模索して遠隔（リモート）授業を実施した。合わせて、2020年度は7年に一度の認証評価受審年度にあたり、FD、SDの実際についてPDCAサイクルを回して実効性のある取組となるように、各学科、事務局各部署、自己点検評価・FSD委員会がその中心となって、実施状況の点検と評価、次への計画企画の立案と運営を実施した。

近年、大学は学生の学修成果の可視化と大学組織全体の内部質保証に関して、より具体的な指標とその達成度について明示する必要に迫られている。教育のアウトカム、教育成果自体の日常的かつ恒常的な質的向上とその不断の継続と推進が強く要請されている中、FSD強化プロジェクトの中核をなす自己点検評価・FSD委員会において、学生からの「授業



評価アンケート」の結果のフィードバックならびに授業実施者による「リフレクションペーパー」の提出と学生を含む学内への公表を実施することに注力した。さらに「ベストティチャー賞」「学長賞」等で優れた教育実施・論文執筆等研究の優れた成果を実現した教職員を表彰して、学内全体の質的向上の一助としている。

## 2. 中期計画目標「関西圏トップ」の達成状況

### (1) 森ノ宮医療大学

「関西圏トップクラス」から「関西圏トップ」に着実に進んでいると思われるが、新設学科の国家試験合格率等には留意する必要がある（対策実施中）

- 関西圏の看護医療分野では、2年連続で関西圏トップの志願度となっている。また、関西圏の理系分野全体でも名立たる国公立・私立大学の中に本学もランクインした。
- 2020年度は医療系大学で西日本1位の志願者数。2021年度入試の本学志願者数は過去最高の4,818となっており、関西圏第1位であると予想される。
- 国家試験結果は総合的に関西圏トップクラスの状況である。
- 科研費採択件数は法人として医科大学を有する兵庫医療大学と大きく件数が異なるが、新規獲得は兵庫医療を上回りトップとなっており、関西圏トップの研究力と言える状況である
- 偏差値は関西圏の私立大学で中位に位置している状況である。

### (2) 森ノ宮医療学園専門学校

縮小傾向にある鍼灸・柔整業界にあって国家試験合格者数はトップまたはトップクラスを維持しているが、国家試験合格率アップに向けた対策強化が必要がある（対策実施中）。

- 国家試験合格者数は関西圏トップクラス（鍼灸はトップ）となっている。
- 在校生（入学者数）もトップクラスであることが推測される。
- 国家試験合格率は関西圏では中位から下位に位置している。

## 3. 個別目標の達成状況

目標	2020年度の状況	補足
①各学科国家試験合格率、対入学者年限卒業率、就職率いずれも関西圏トップ	次頁表	
②各校収容定員充足率100%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大学：106.1%（学部定員1,700）</li> <li>●専門学校：66.7%（定員660）</li> <li>●WLS：62.0%（定員260）</li> </ul>	いずれも2021.5時点WLSは2022年4月に100%見通し
③借入返済後キャッシュフロー黒字化	2021年度（現行投資計画最終年度）約8億の赤字	2022年度に達成見通し
④働きがい度80%以上	—	2022年春に測定予定

以上

●学科別中計目標達成状況（達成＝◎、順調＝○、やや難航＝△、難航・見通悪＝×）

【大学】

学科	目標	2020		2019	
大学院	1 受験者数が定員数以上	△	保健医療学専攻○、看護学専攻×、医療科学専攻○	×	特に博士後期と看護学専攻
	2 看護学専攻博士後期課程の設置	○	学長室を中心に計画通り進行中	○	
	3 論文博士授与制度の整備	○	情報収集済み	○	
	4 カリキュラム改編	○	医療科学専攻について完了	○	
	5 修士1学位授与につき1論文、 博士1学位授与につき3論文	△	院生によって大差あり。平均すると向上している。	△	院生によって大差あり
	1 国家試験合格率100%	○	<p>           本学・・・はり師：93.9% きゅう師：93.9%            全国・・・はり師：70.0% きゅう師：72.2%            新卒・・・はり師：89.2% きゅう師：88.9%            大学新卒・・・はり師：85.2% きゅう師：88.2%            大学合格率の本学順位            はり師：2/11位 1位は関西医療大学で100%            きゅう師：4/11位 1-3位は関西医療大学、倉敷芸            術大学、鈴鹿医療科学大学で100%            大学合格者数の本学順位            はり師：2/11位（西日本1位） 1位は帝京平成            大学56名（定員92名の大学）            きゅう師：2/11位（西日本1位） 1位は帝京平成            大学60名（同上）            専門学校大学を合わせた関西地区結果            はり師：合格率7/20位 合格者数4/20位（大学1            位）            関西地区合格率89.8% 583/649            きゅう師：合格率8/20位 合格者数4/20位（大学1            位）            関西地区合格率90.8% 589/649            定員に対する受験率            81.7% 大学1/11位 関西地区5/21位         </p>	×	<p>           はり師：全国73.6% 本学（現役43/48 89.6% 既卒            5/16 31.3% 総合48/64 75%）            きゅう師：全国74, 3% 本学（現役42/48 87.5%            既卒4/15 26.7% 総合46/63 73.0%）         </p>

鍼灸

2	入学者4年後卒業率95%以上	×	在籍者数 1年生：65/69 94.2% 2年生：60/68 88.2% 3年生：57/70 81.4% 4年生：49/67 73.1% 現役留年:9名 5年目3月末卒：6名 1年目から未達確定	×	1年生：5/63退学 2年生：5/64退学 3年生：1/62退学 4年生：1/67退学 4年生：10/67留年 4年現役卒：48/68（70.6%）
3	学生募集 第一志望志願者100名以上	×	入学者59名（定数1減） 第一希望51名 第一希望志願者大幅減	△	第一志望延べ103名 ※実人数では下回る 別志望116名
4	各学年末における全単位修得者90%以上	○	1年生：55/65（84.6%） 2年生：53/60（88.3%） 3年生：45/57（78.9%） 4年生：49/64（76.6%） 全体：202/246（82.1%） オンライン授業が影響した可能性あり	×	1年生：49/63（77.8%） 2年生：41/59（69.5%） 3年生：44/60（73.3%） 4年生：48/68（70.6%） 全体：182/250（72.8%）
5	進路決定率100% 医療機関就職者10名以上 教員採用試験合格者年2名以上	○	卒業生進路決定率100% 教員採用試験6名（既卒） 教職採用7/16（43.8%） 一般企業7、医療機関4、治療院32 3月末未定5	×	3月末時点：43/48（89.6%） 医療機関就職者0名 教員採用試験1名（既卒）
6	専門資格取得率100%	◎	スチューデントトレーナー14/14（100%） 美容薬学検定0/0 COVID-19で中止 健康実践指導者1/1	○	スチューデント18/19(94.7%) 美容薬学検定 健康運動実践指導者

	7	査読付き学術論文 各教員年1報以上	○	和文9（筆頭4） 英文2（筆頭2） 査読無し和文6（筆頭5）※鍼灸OSAKA4 発表15（筆頭7） 著書4（共著2）	×	和文：4編 英文：3編 筆頭：4名
	8	附属施術所の教育・研究施設としての独立 臨床研究年5件以上の実施 他学科との共同研究1件以上	×	症例報告1（査読無し） 臨床試験0	△	施術所での研究内容査読付き投稿：0 施術所研究：1 他学科との共同：3
理学	1	国家試験合格率 1 0 0 %	△	96.7%となり成果が後退した。	◎	100%達成した。最終試験での不合格者は2名。
	2	入学者4年卒業率95%以上	△	81.4%（3末1名含む） 次年度は2名留年1名休学3名退学。 次々年度は1名退学。	△	84.3%（3末1名含む）。次年度6名退学3名留年、 次々年度3名退学3名留年しており厳しい。
	3	就職第一希望先就職率=100%	△	73.2%	○	分析中
	4	在校生推奨度=75%以上		集計中	○	2019年度は分析中？
	5	入学偏差値=競合大学以上	△	55（昨年度57）へ下降したが、他大学との差も同様	○	57（昨年度54）へ上昇したが、他大学との差も同様
	6	臨床マインド（社会人力～臨床力）を高める教育	○	授業欠席過多者は0 臨床評価実習で不合格者1名だった）	○	授業欠席過多者は1名 OSCEによる実習における質の担保（指定規則改訂に対応。長期実習での不合格者は2名だった）
	7	質が保証された実習地の確保	○	指導者講習会の継続中	△	コロナの影響により、指導者講習会の中止が相次いでいる。
	8	学科独自色の追求	○	新カリキュラムの開始。	○	OT学科とのカリキュラム編成を調整し、新たなカリキュラムをスタートさせる予定。
	9	学科外研究テーマの構築。 科研費申請率70%、採択数4件、筆頭論文数2本以上／5年／人	○	科研費申請率62.5% 新規採択数1件、継続6件	○	新規2件。 学科全体論文数17本、筆頭6本
	10	卒後教育システムのブラッシュアップ	○	大学院への進学、学会発表、臨床力向上を達成。	○	卒後教育センターと連携し、順調である。
	1	国家試験合格率 100%	◎	39名/39名（100%）	○	38名/39名（97.4%）
	2	入学者4年卒業率95%以上	×	"37名/50名（74%）4年次途中に退学者が出たが、最終の卒業判定の段階では全員がクリアして3月末卒業は0となっている。"	△	40名/50名（80%） 最低40名の目標はクリア

作業	3	学科第一希望受験生90%以上	×	"第一志望志願者87名（延べ人数）	◎	入学者52名中50名が第1志望
	4	学科ブランド力の強化	○	社会貢献・研究発信は一部の情報については発信できた	△	社会貢献・研究発信は一部教員に継続中 言語聴覚専攻科設置については一旦白紙に戻す
	5	希望就職率100%	×	"第1希望25名/38名（75.8%）※国公立、大学病院、高度先端病院への就職は無かったが、次年度はこれらの病院への就職率も高めたい"	◎	第1希望33名/38名（86.8%） ※府立病院機構1名、済生会2名、大学病院1名 etc 第2希望以内38名/38名（100%）
検査	1	国家試験合格率100%	△	国家試験合格率83.3%まで上昇した。しかし、新卒全国平均は91.6%と大きな開きがある。 国家試験ワーキングを刷新し、チューター業務を見直し、国試対策教員で成績下位の個別指導を行い、合格率の向上を目指す。	×	国家試験合格率54%と極めて低い結果となった。
	2	入学者4年後卒業率95%以上	△	4年間卒業率92%となった。成績下位の指導を強化する必要がある。	○	4年卒業率は96%
	4	臨床検査学科入試志願者数の増加	×	2021年度入学試験志願者総数は588→554名と減少している。かつ、第1志望は343→275名と2年連続減少している。 今後、広報部と対策について相談する必要がある。	×	2020年度入学試験志願者総数は558→607名と増加しているが、第1志望は473→354名と減少
	5	資格取得率は卒業生の1割	×	上級バイオ技術者3名 卒後1年目のため、受験資格条件を満たしていない認定が多い。	×	基本情報技術1名
	6	学科連携研究を進める。	○	鍼灸学科と2つのプロジェクトが終了し論文作成中、新たに2プロジェクトを開始	○	鍼灸学科、臨床工学科との連携研究が進行中（3プロジェクト）
	1	教育内容の充実、授業・実習に対する学生の満足度80%以上 教員の教育力の向上	○	授業評価アンケートにて学生の肯定評価が80%未満で指導の入る科目がなかった。	△	授業評価アンケートにて学生の肯定評価が50%未満の科目があり、学科長面談を実施した。
	2	国家試験合格率100%	○	看護師100%、保健師100%	△	看護師国家試験は100%であったが、保健師国家試験は90%であった。
	3	入学者4年後卒業率95%以上	×	88名入学76名卒業（86.4%）。この学年は1～2年次の退学者が多かった（進路変更等）。また留年者も5名いる。	○	88名入学82名卒業

看護	4	7対1病床or 300床以上の病院の就職率80%以上 実習先施設への就職率60%以上	△	実習先施設への就職率54%	△	実習先施設への就職率52%
	5	教員の充実した活動 教員の研究力の向上 領域内で論文投稿1編以上/年	○	査読付き論文採択数10編、科研費申請13件	△	論文投稿7編であり、投稿者に偏りがあった。
	6	大学院看護学専攻の入学者の定員確保	△	3名	△	2名
	7	看護学部改組、大学院博士後期課程設置の検討	○	文科省へ申請	△	教員への周知であり具体的活動は行っていない。
	8	卒業生との情報交換・交流1回/年以上 卒業生のキャリアアップ支援 本学卒業生教員の育成	△	1回のみの実施であった。	△	1回のみの実施であった。
	9	保健師課程10名、教職課程（養護教諭一種免許）15名の学生確保	○	保健師課程10名、養護教諭課程9名	△	保健師課程6名、養護教諭課程9名
	10	助産学専攻科への進学率の向上 5名以上/年	○	6名進学	○	6名進学
助産	1	国家試験合格率100%	◎	合格率100%達成	◎	自己採点の結果で正式には未定（3/19発表）
	2	森ノ宮医療大学看護学科からの内部進学者が5名以上確保できる。	◎	内部進学生6名入学、目標達成	◎	6名進学
	3	希望施設への就職率100%で早期に決定する。	○	就職率100%、目標達成	◎	
	4	受験率が上がる（3倍以上）	◎	入学者4名に対し11名受験、5名入学、目標達成	◎	入学者4名に対し13名受験
	5	長期実習施設の確保	○	継続事例可能な施設3施設目標確保、あと2施設の確保に向けて開発する。	△	設立4年目と後発なので、長期実習についてはまだ難航している。

【専門学校】

	1	国家試験合格率100%	△	はり師88.7% きゅう師90.3%	△	はり師98.4% きゅう師98.4%
--	---	-------------	---	-----------------------	---	-----------------------

鍼灸	2	入学者3年後卒業率95%以上	×	1/2年次の退学により3年次進級率が77%のため	×	1/2年次の退学により、すでに3年次進級率が79.3%のため
	3	鍼灸治療に必要な技術の修得	△	3年生は問題ないが、1・2年生はコロナの影響により、実技授業が不足していたため	○	
	4	在校生推奨度80%以上	△	72.4% 2年生での推奨度が低い。コロナによりゼミ等を実施できなかった影響が考えられる。	○	80.00%
	5	入学定員充足率100%	△	85.4% (94名/110名)	△	95.4% (105名/110名)
柔整	1	国家試験合格率100% (既卒者40%)	△	現役生73.1%	△	現役生78.6% (既卒12.3%) 全国平均84.8% (16.5%)
	2	入学者3年後卒業率95%以上	△	71.4% (55/77名)	○	2017入学56名 2019卒業40名 71.4%
	3	入学定員充足率100%	△	74.4% (67/90名)	△	定員90名 入学54名 60%
	4	教育力の再構築 (学生生活アンケート「教職員の対応と指導全般について」や満足以上80%以上) (教員の学会発表率100%)	○	学生生活アンケート86.3% 教員発表0/8名 (コロナの影響による。)	○	学生生活アンケート94.7% 教員発表2/8名
	5	臨床力の再構築 (教員の臨床活動率100%) (学生生活アンケート「モチベーションの変化」が90以上の学生が80%以上)	○	学生生活アンケート60.4% 教員臨床7/8名	○	学生生活アンケート57.8% 教員臨床7/8名